

とかもす

社長弊社 アイドル眠×す



とかもす

社長弊社
アイドル眠×す

本作品は18歳未満の方は閲覧できません
本作品はフィクションです
実際の人物・団体名等とは関係ありません



はい

え？今でも一緒に寮で住んでるの？



そうですね
メンバーに
よっては
もっと長い娘も
います

そっか
そっか……

じゃあ……



へえ……！
そうなんだ
……！

じゃあ
デビューして
3周年って
ことは……
3年間一緒に？

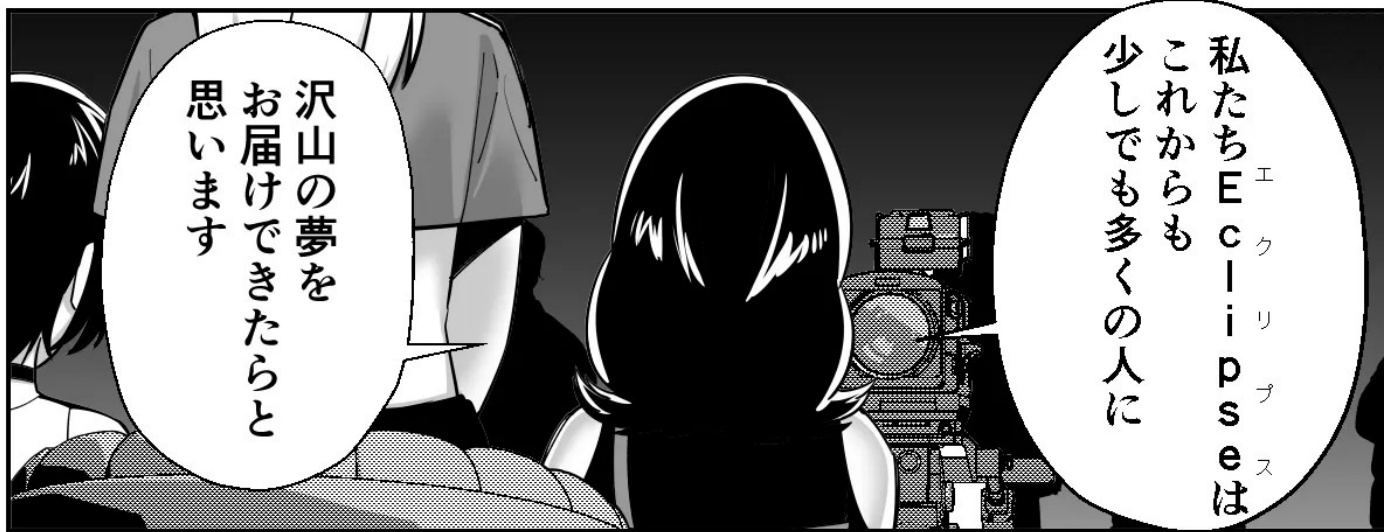


……
では最後に

デビューして
3年経った今

改めて今後の
目標とか夢とか
教えてもらえ
ますか？

はい



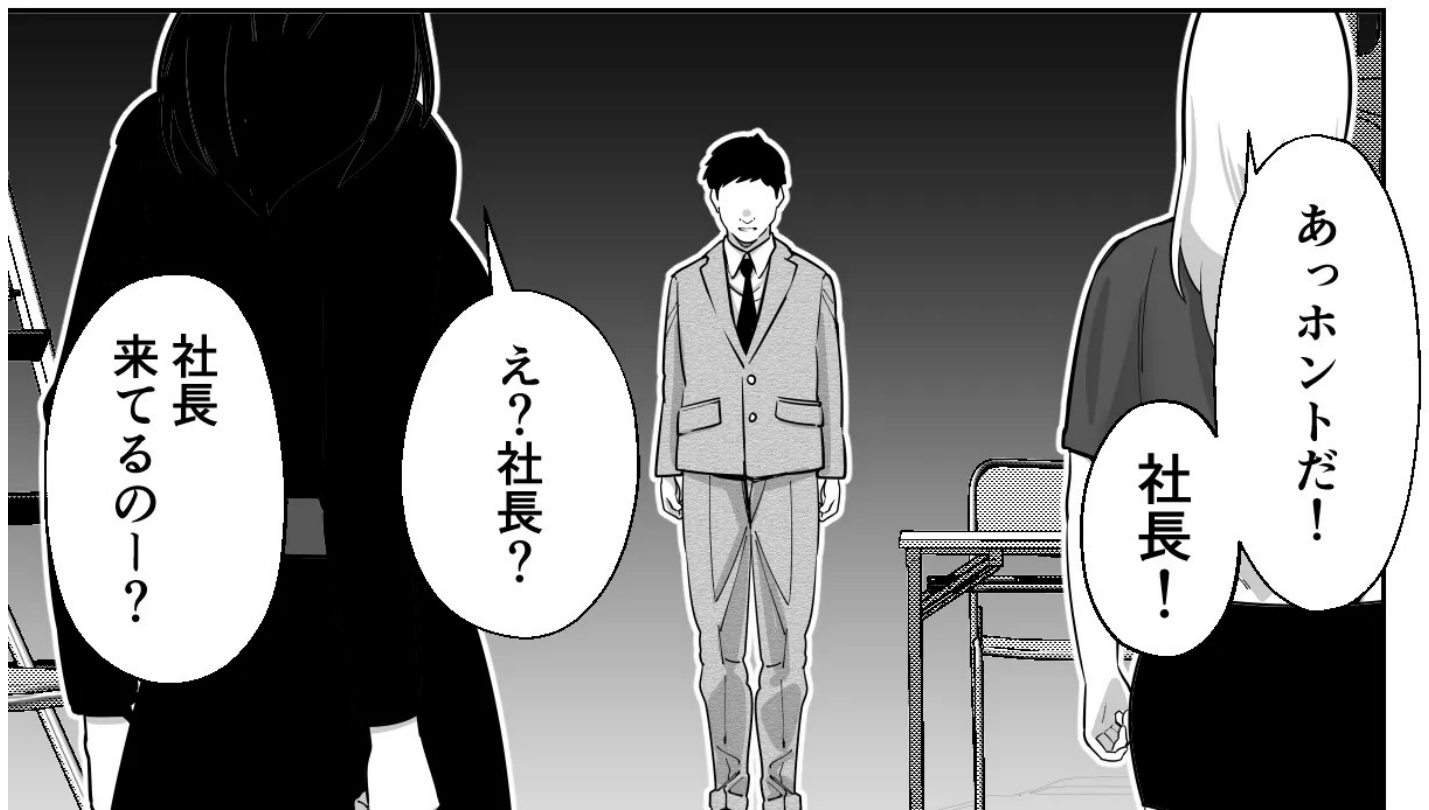
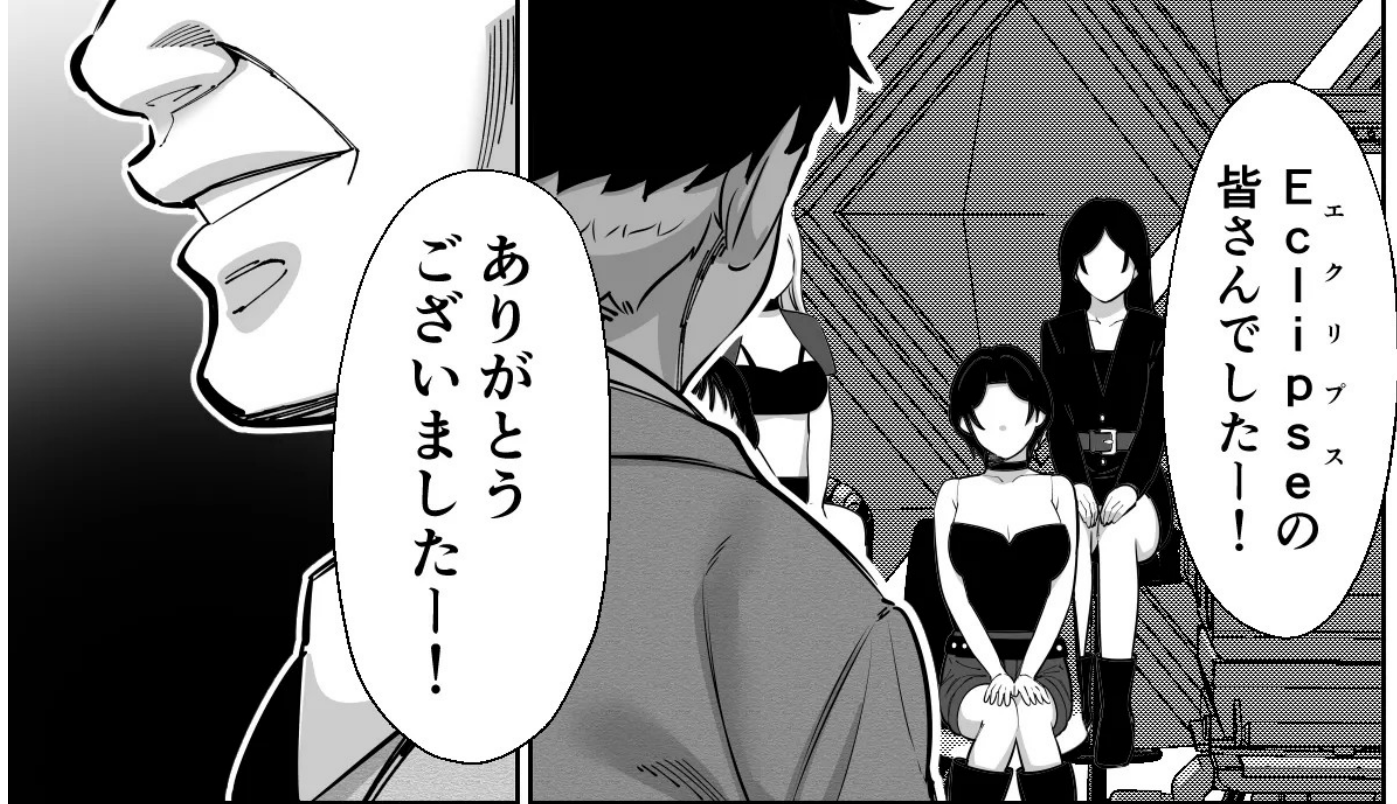
私たち^エク^クリ^リプ^プス^スは
これからも
少しでも多くの人に

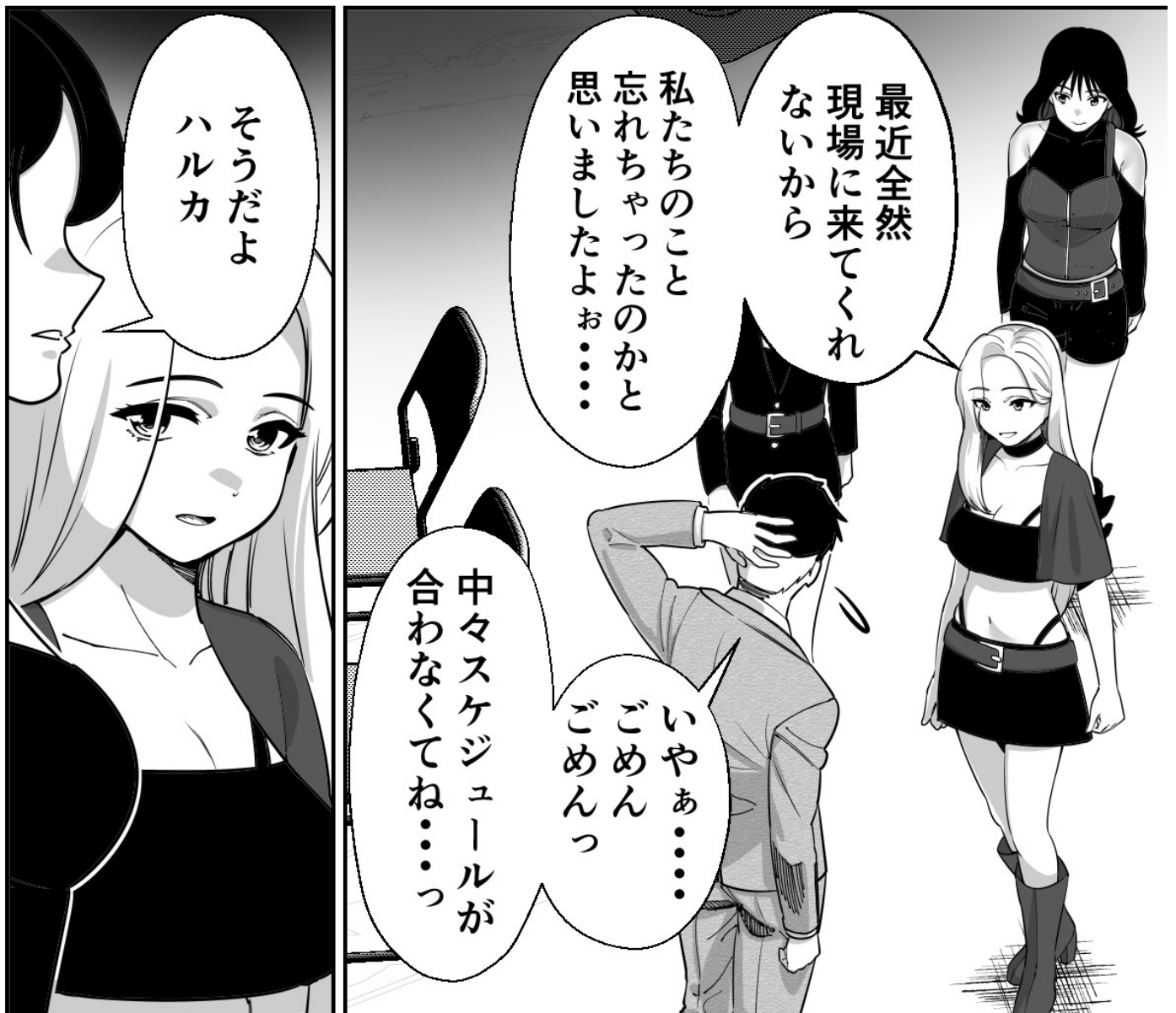
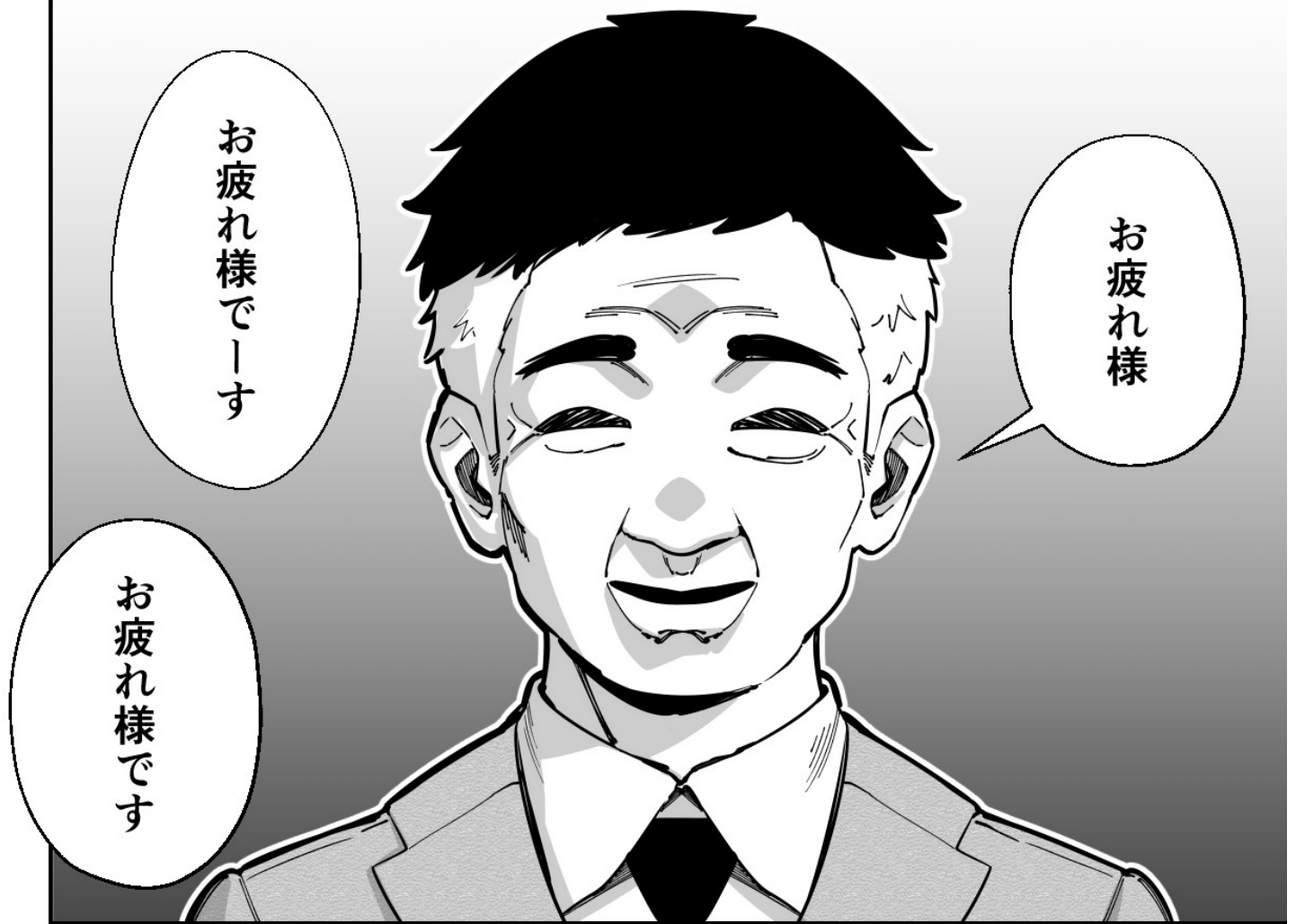
沢山の夢を
お届けできたらと
思います

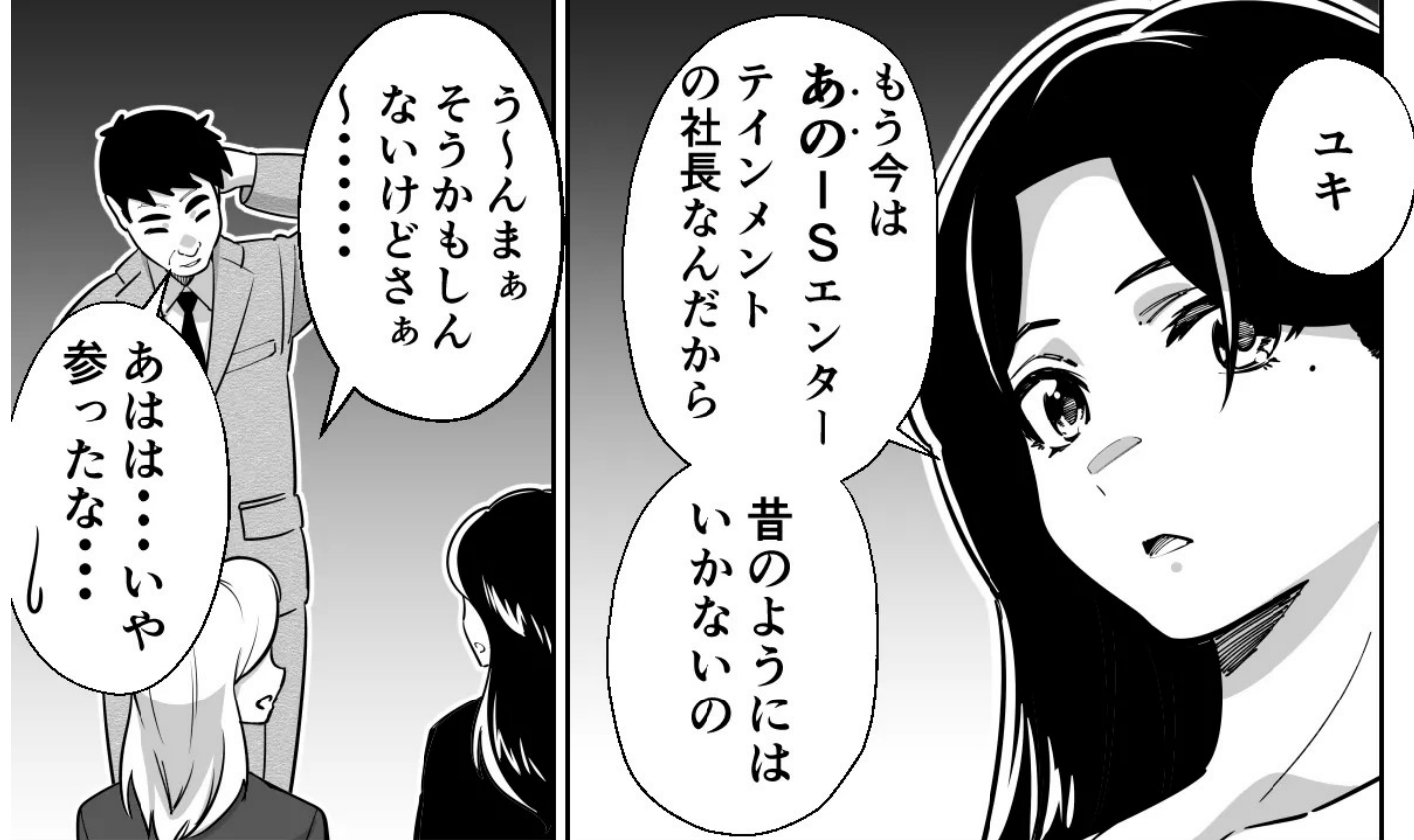


今後も
応援

よろしく
お願いします！







ユキ

もう今は

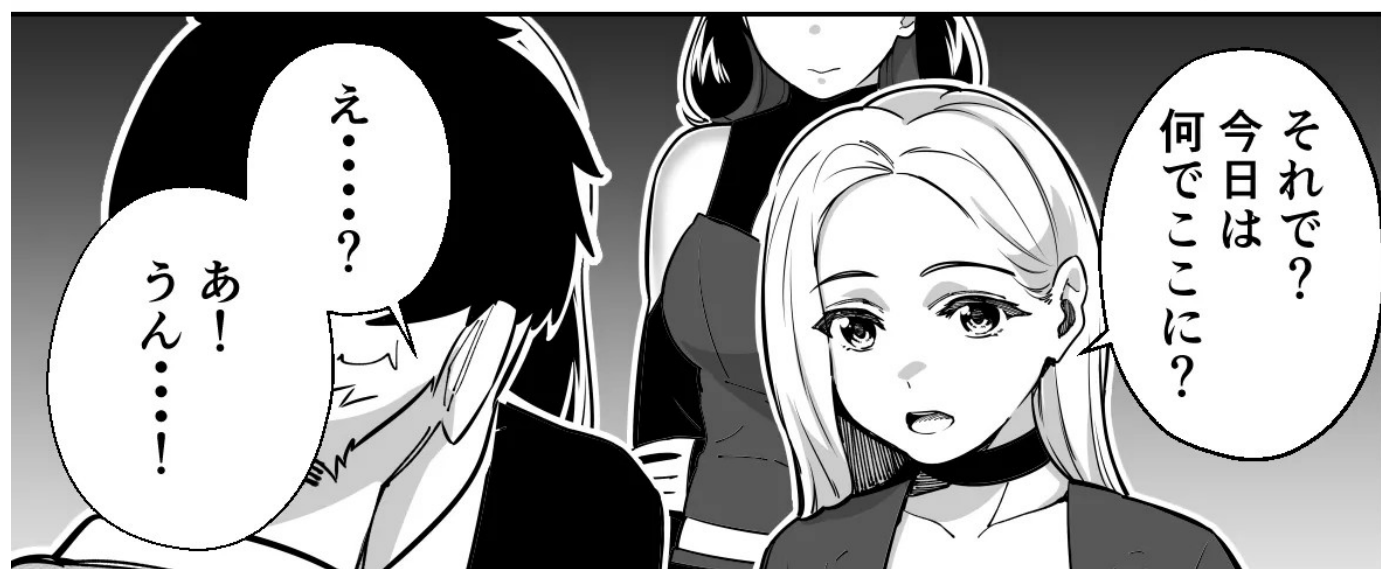
あのーSエンター

テインメント
の社長なんだから

昔のように
いけないの

うーんまあ
そうかしん
ないけどさあ
ー……

あはは……いや
参ったな……



それで？
今日は
何でここに？

え……？

あ！
うん……！

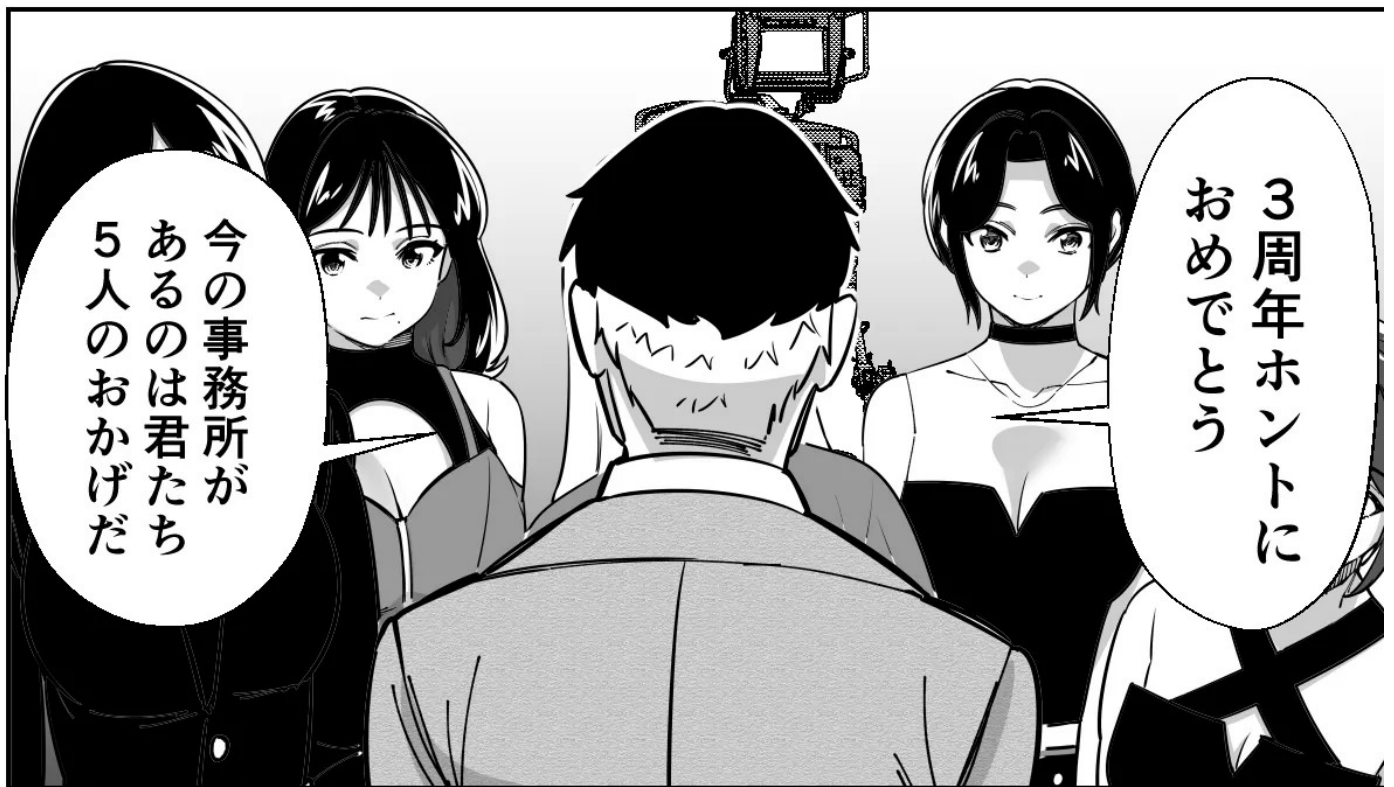


今日はデビューから
3周年の
記念すべき日
だからね

どうしても皆に
直接会って
お祝いを一言
言いたかった
んだよ

え？わざわざ
ですか？

もちろん



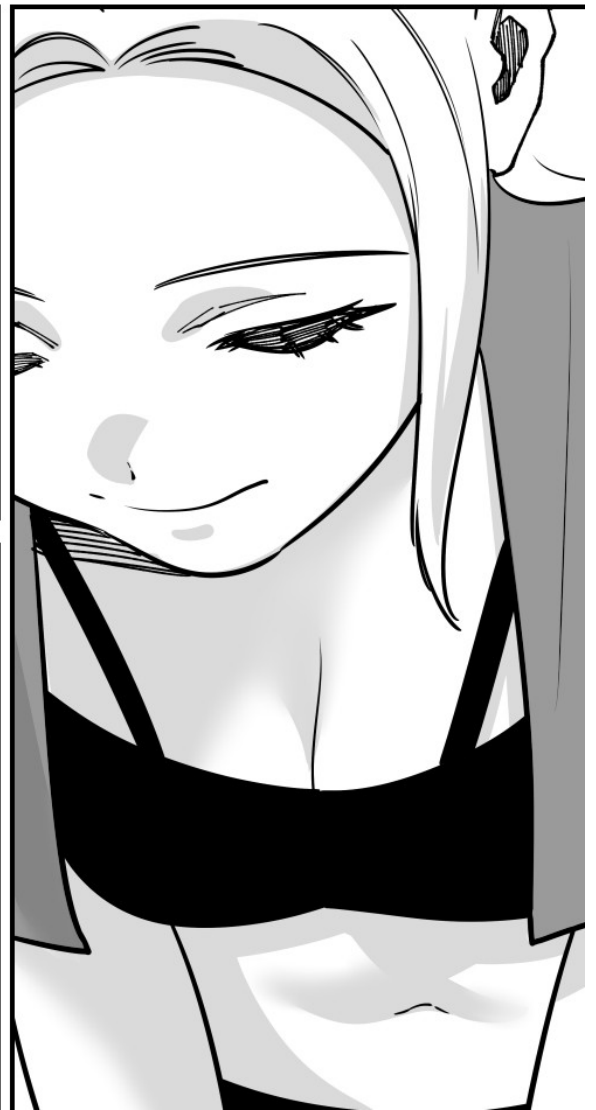
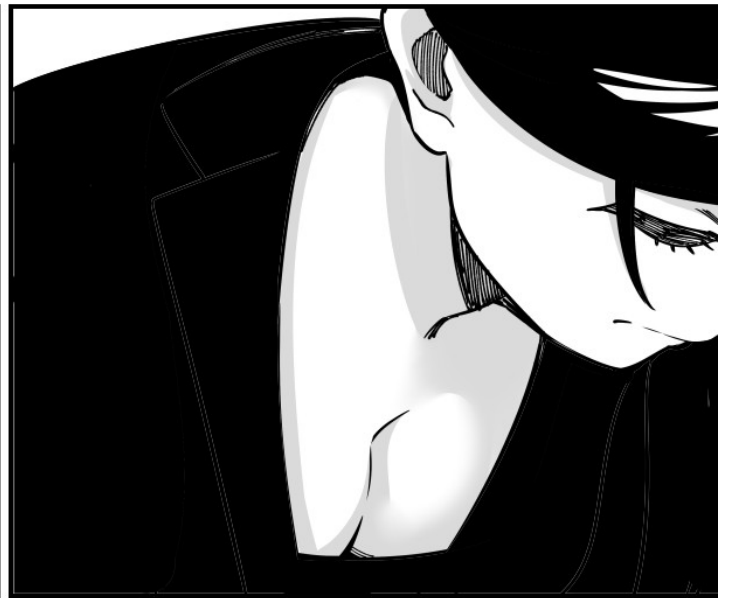


本当にありがとう



ありがとうございます
.....!!

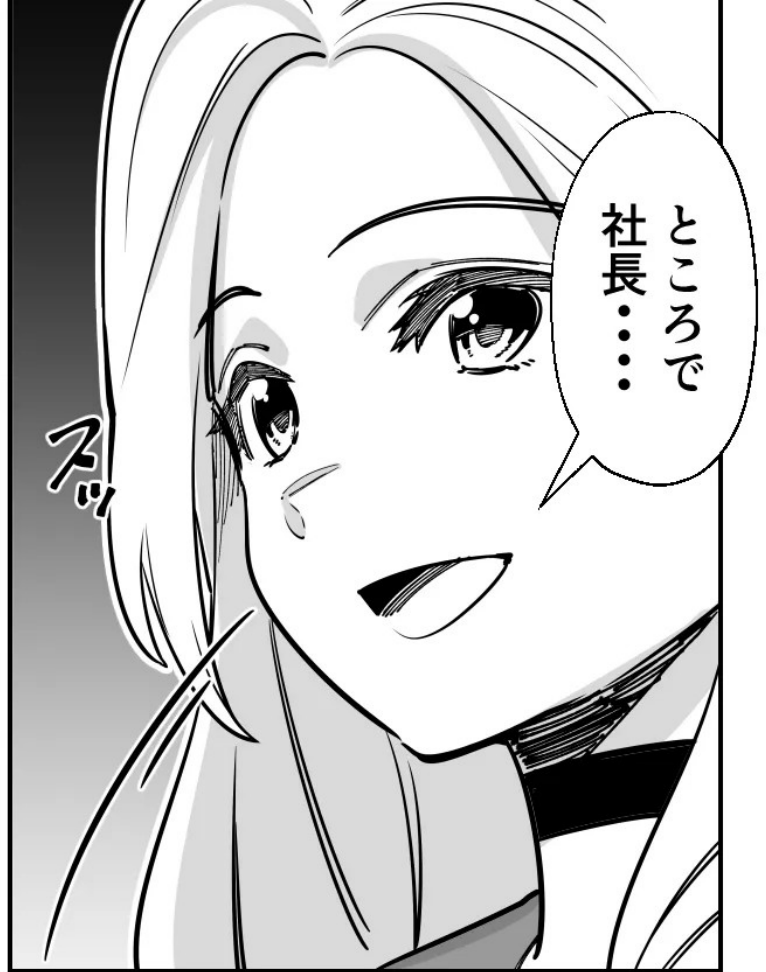
あっ
ありがとうございます





ん？

もしかして
何かプレゼン
とかあったり
して……？



ところで
社長……

フッ



そんなこと
言いながら
実は何か
用意してるんじゃないんですかあ？

いやっ
ホントに
……っ

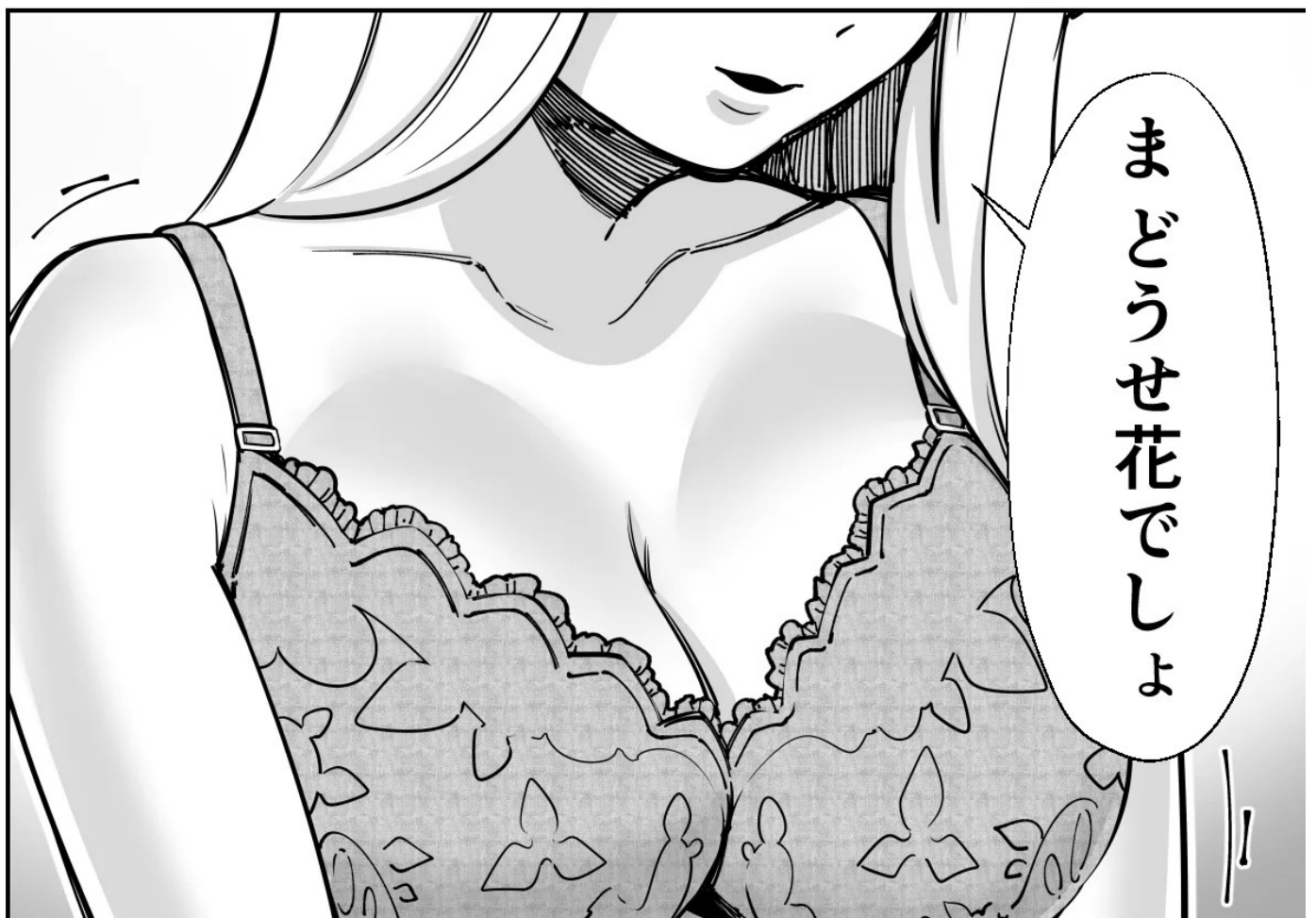
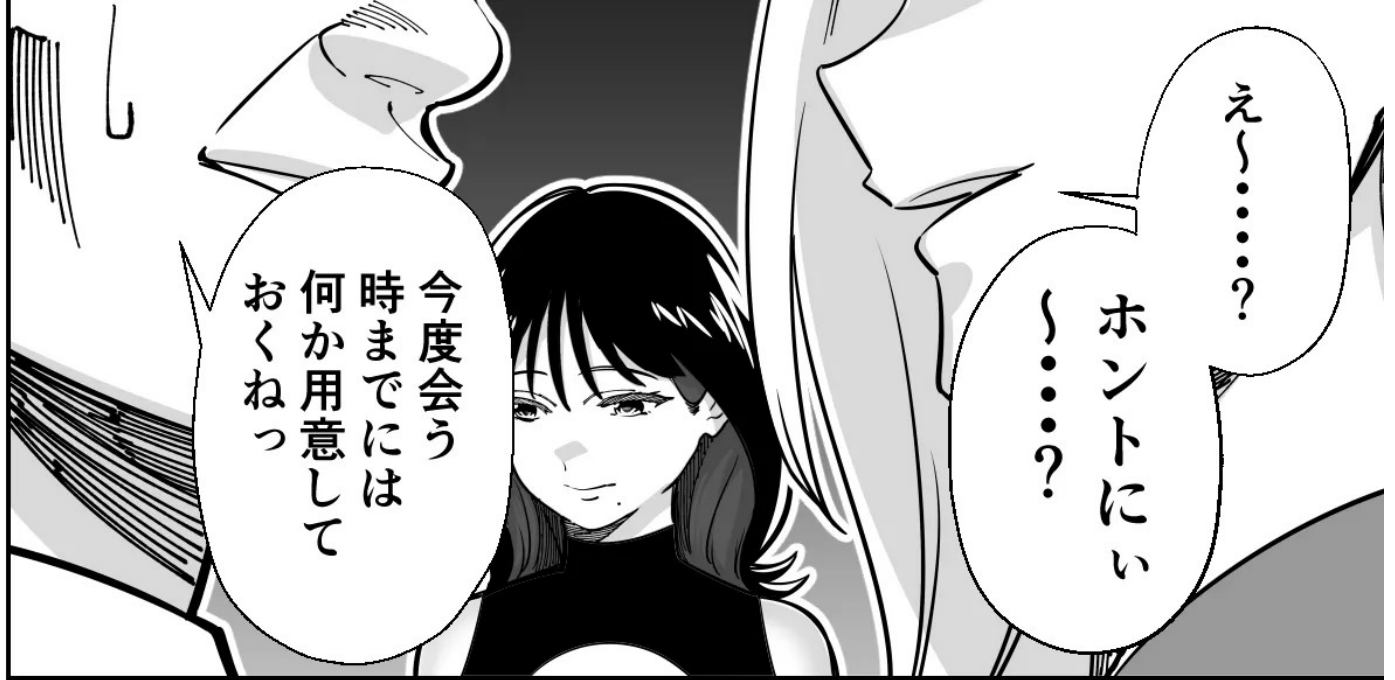
急遽ここに
来たから
……

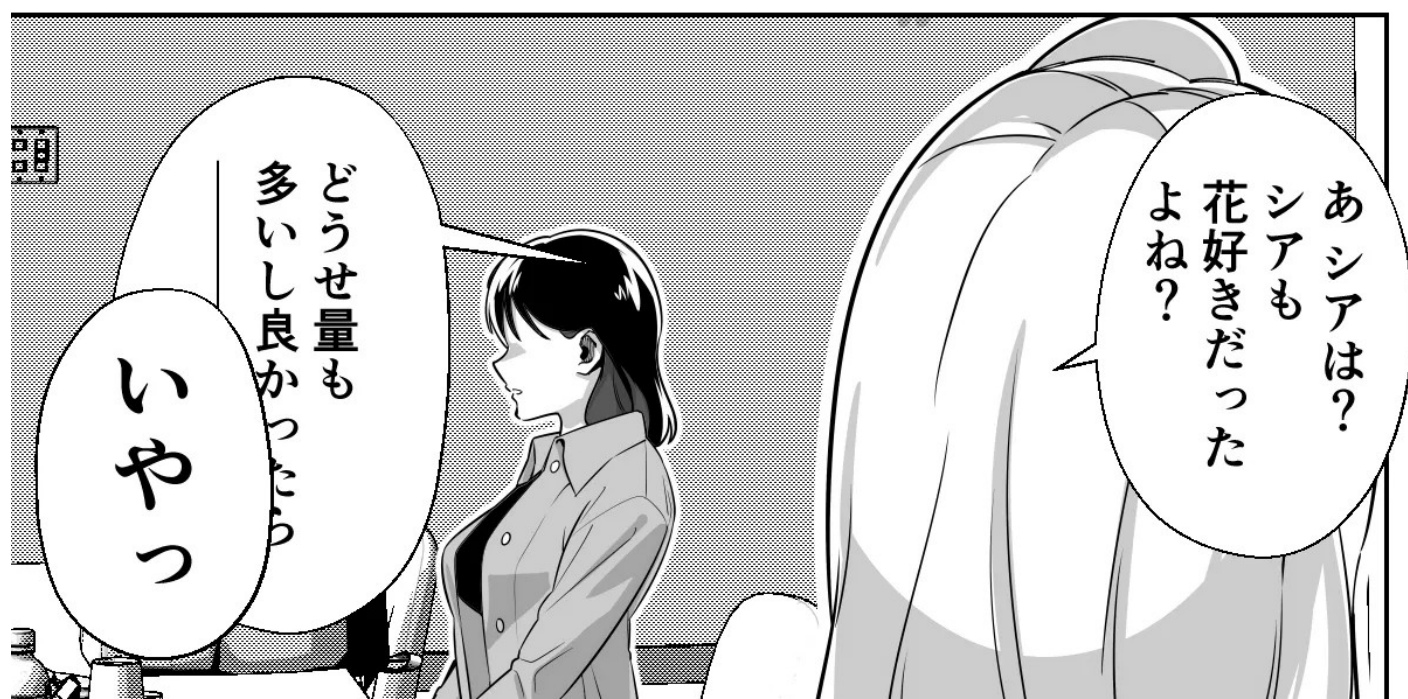


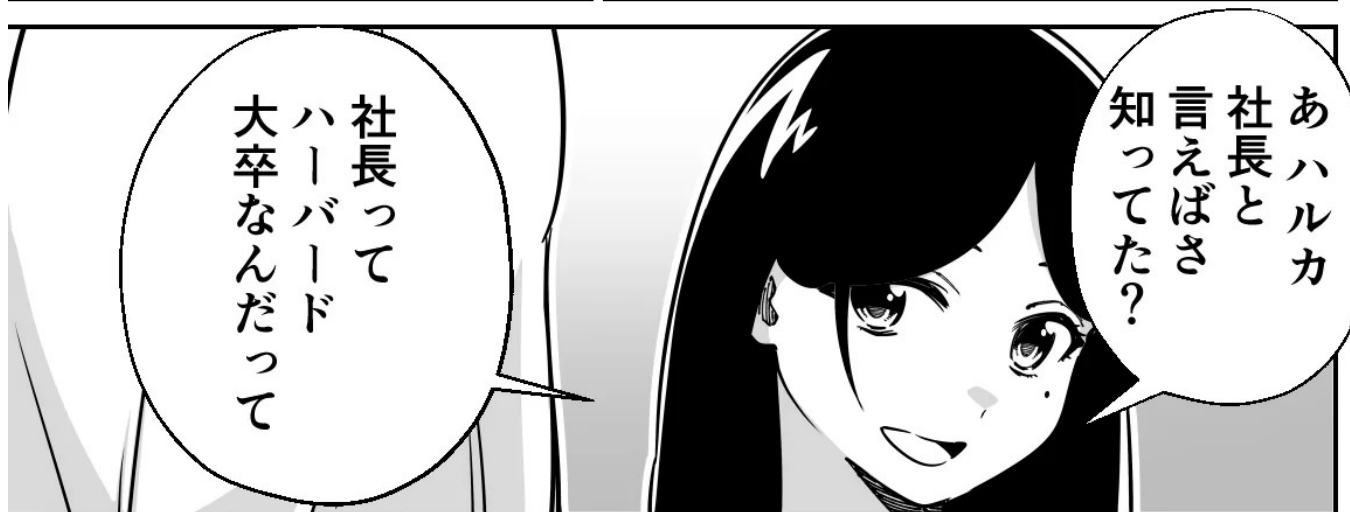
！ああ
そうだね

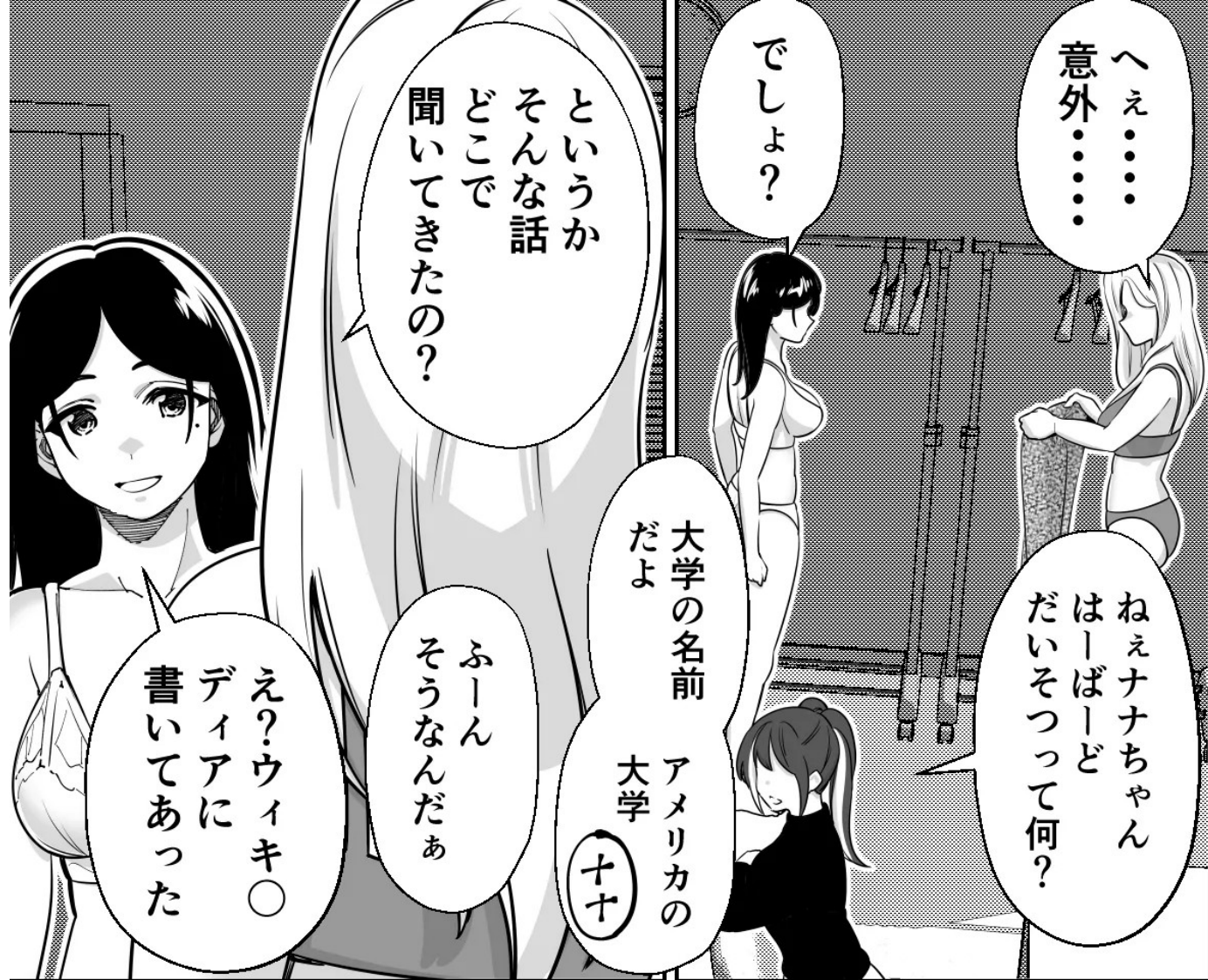
何か
持ってくれば
良かったね
ゴメンっ

ええ……？
ホントですかあ
……？









それが
よくわかん
なかつたん
だよね……

よく
わかんない？

うん
そこだけ
何も触れられて
ないって言うか
……

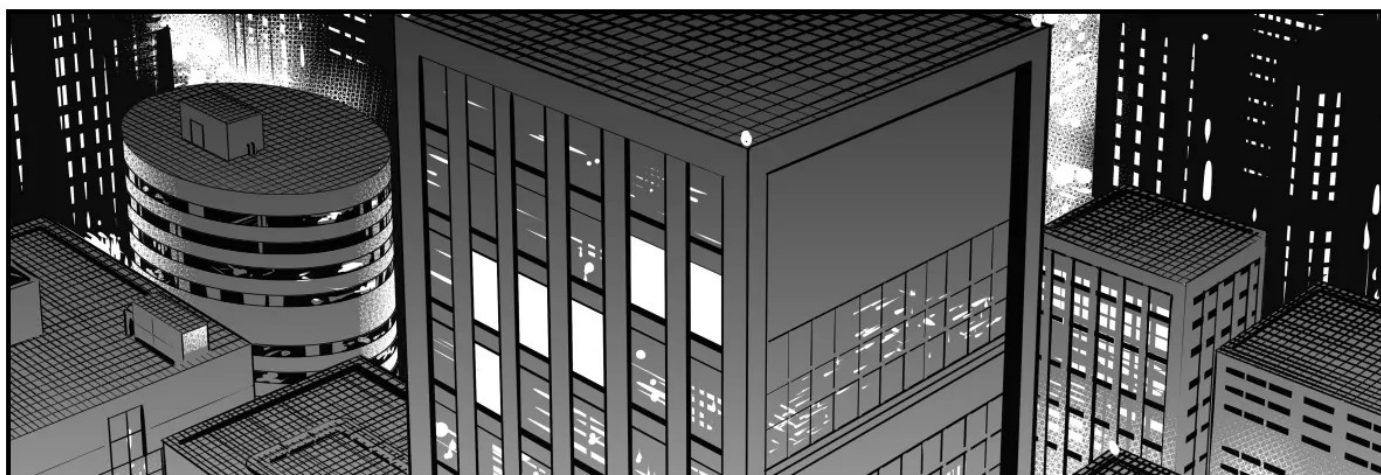
そこ以外は
やたら詳しく
書かれて
たんだけど

へえ……

もしかして
何かめっちゃ
ヤバイ裏事情が
あるとか？w

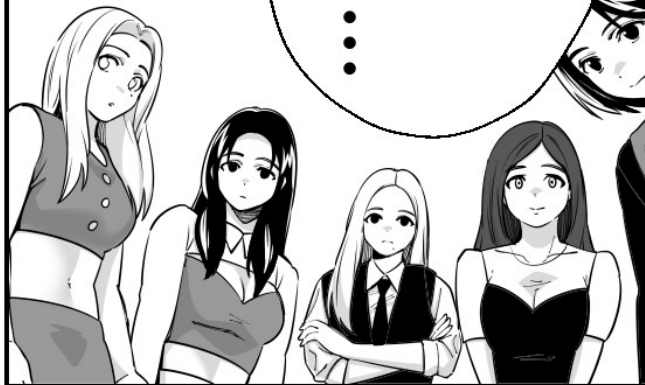
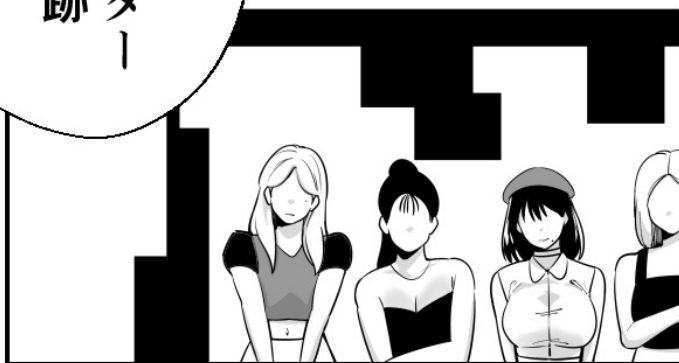
裏事情って
なによ？w

いやわかん
ないけどw



Eclipse
世界のトップスター
になるまでの軌跡
.....

人気ナンバー1
グループ
Eclipse
圧巻のステージ……



やはり私は
正しかった
……

これで
心置きなく
……

か

あ
社
長

「夢見るアイドル計画」

珍しいですね
こんな時間まで
事務所にいるなんて

ああ……

ちょっと
調べ物をね

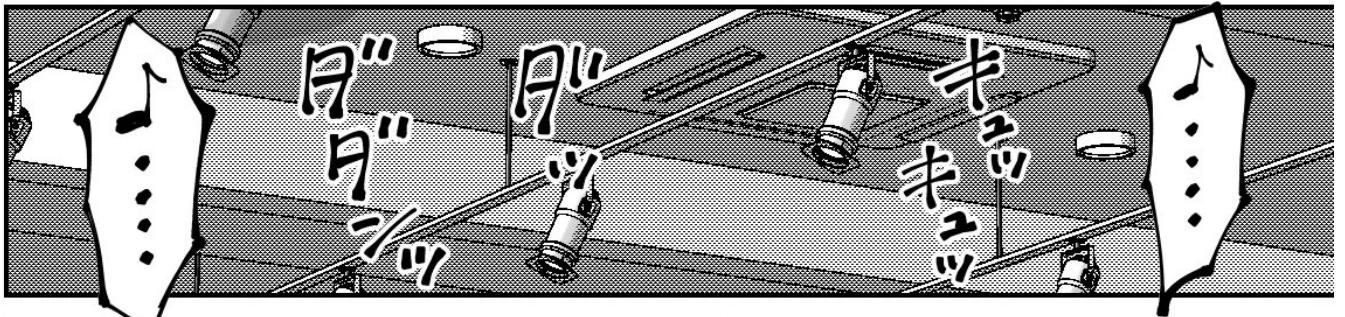
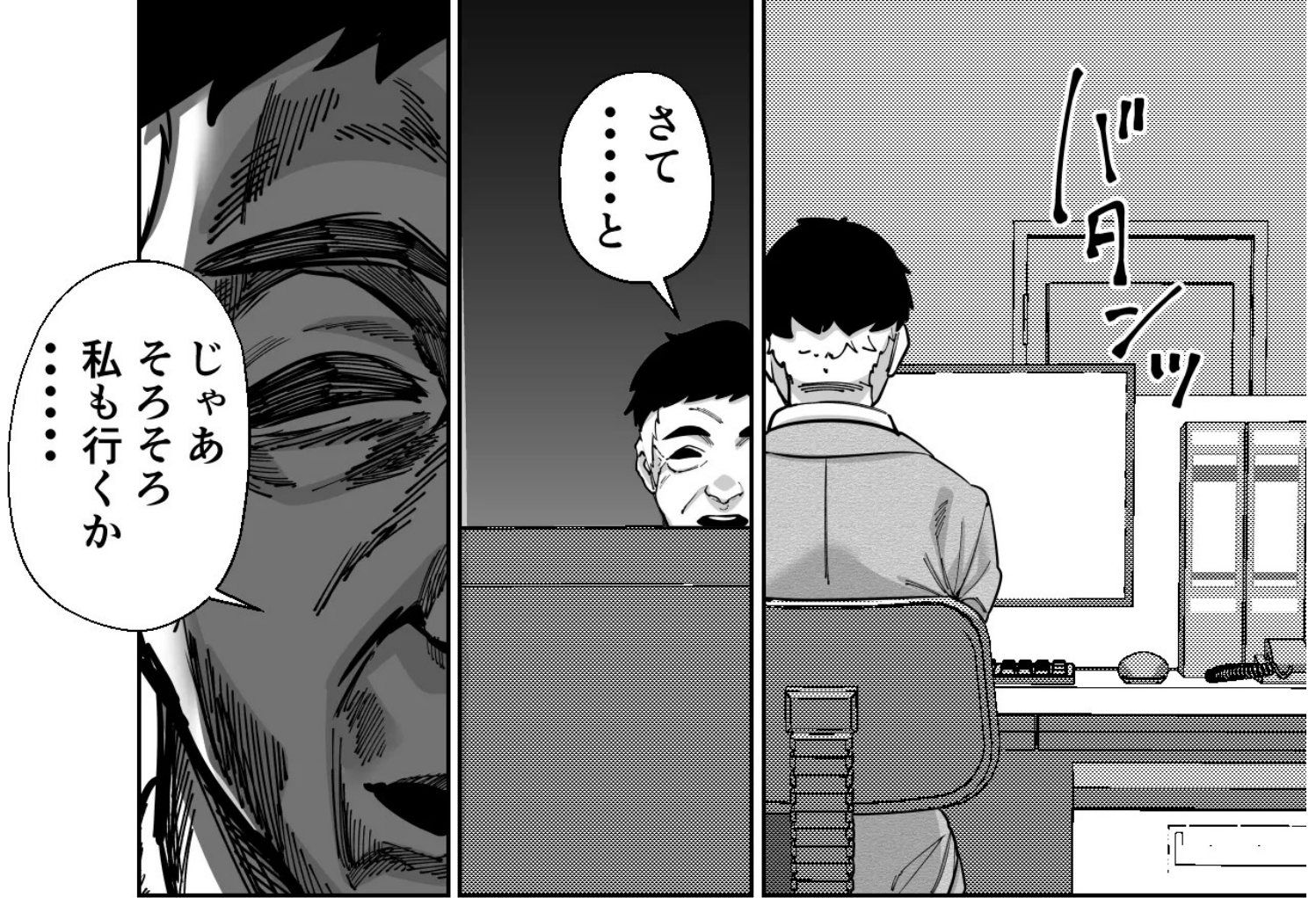
何かお手伝い
できること
ありますか？

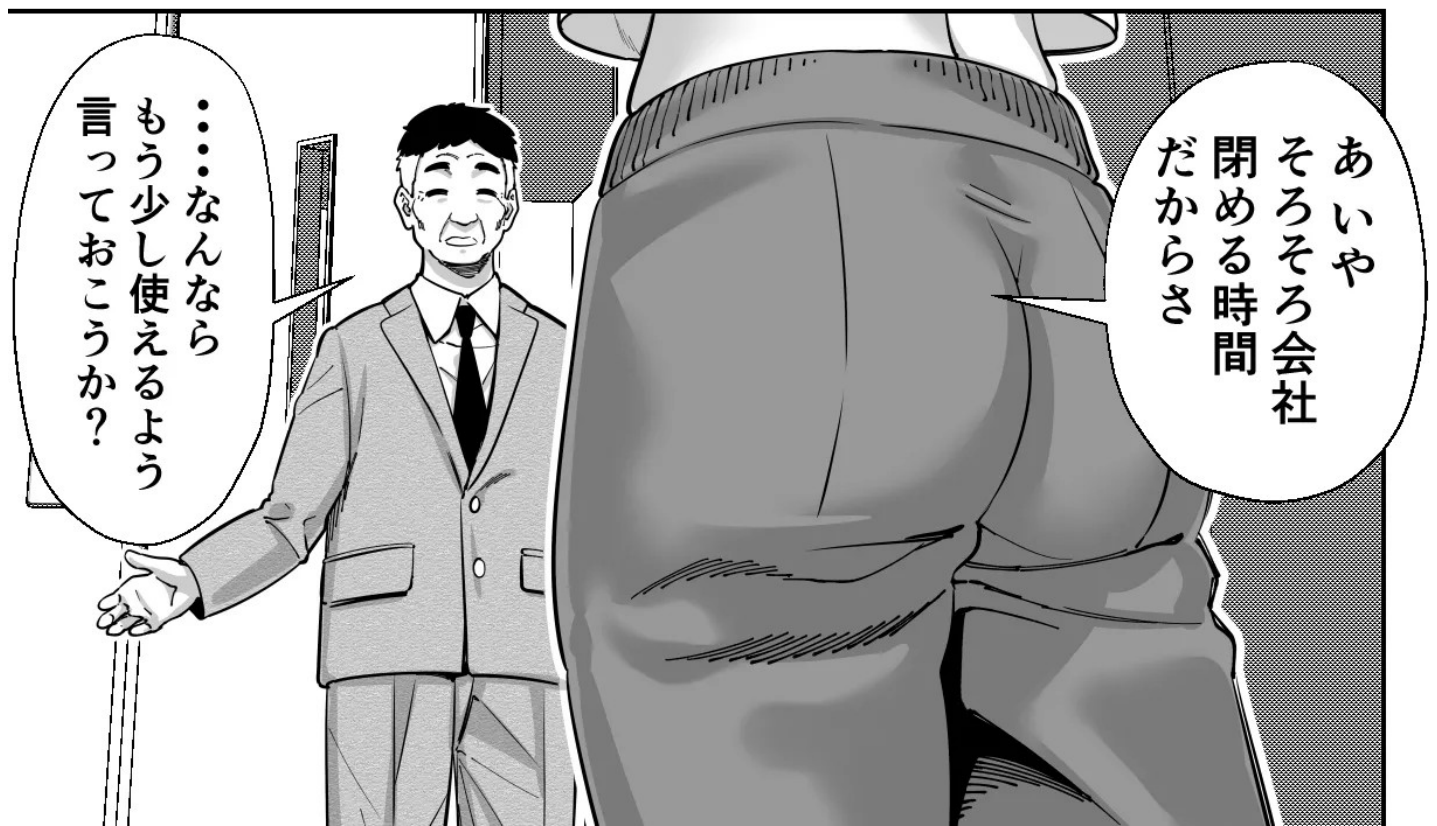
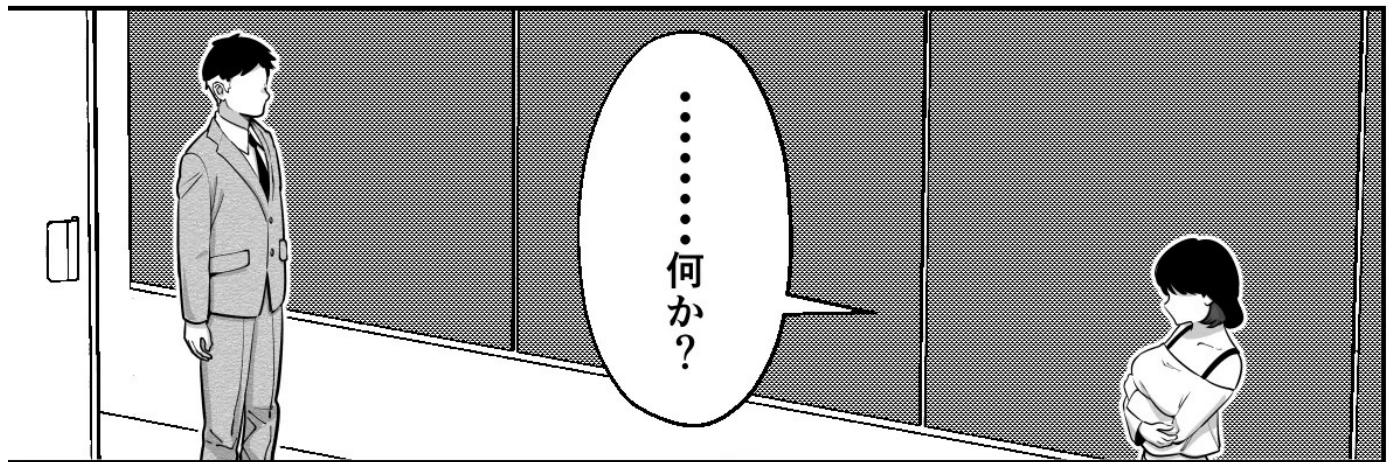
いやっ大丈夫……
今終わった所
だから

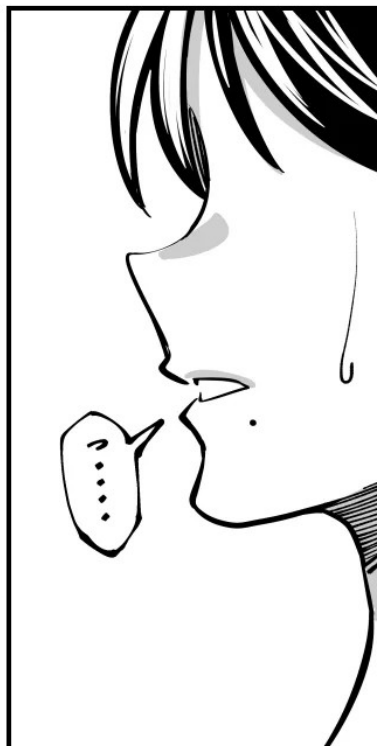
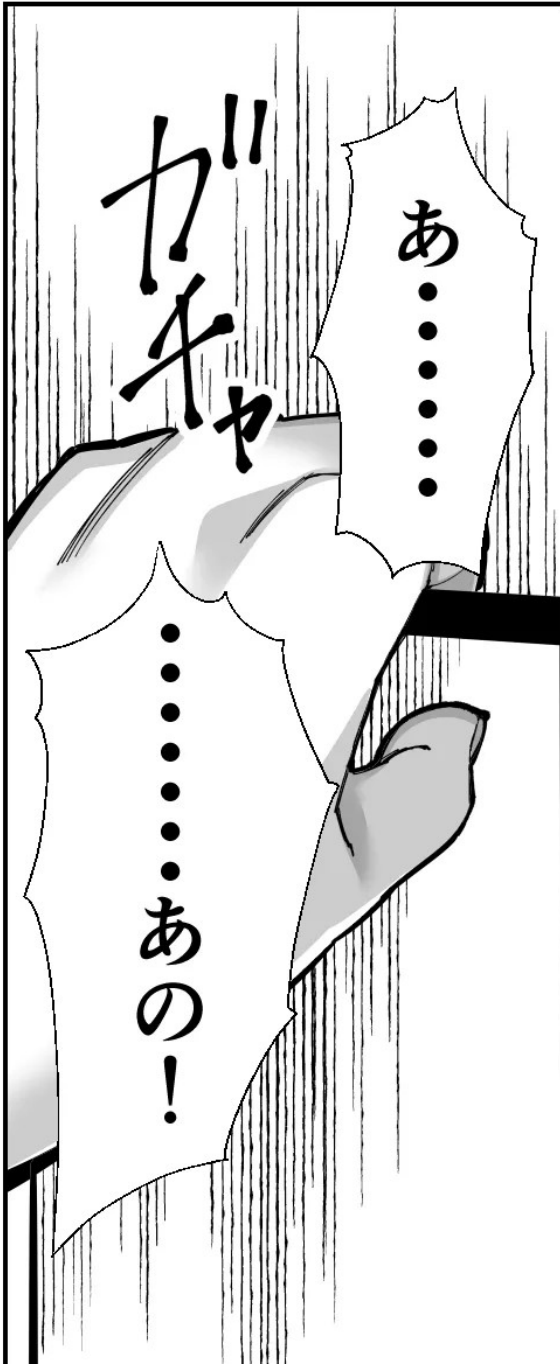
そうですか

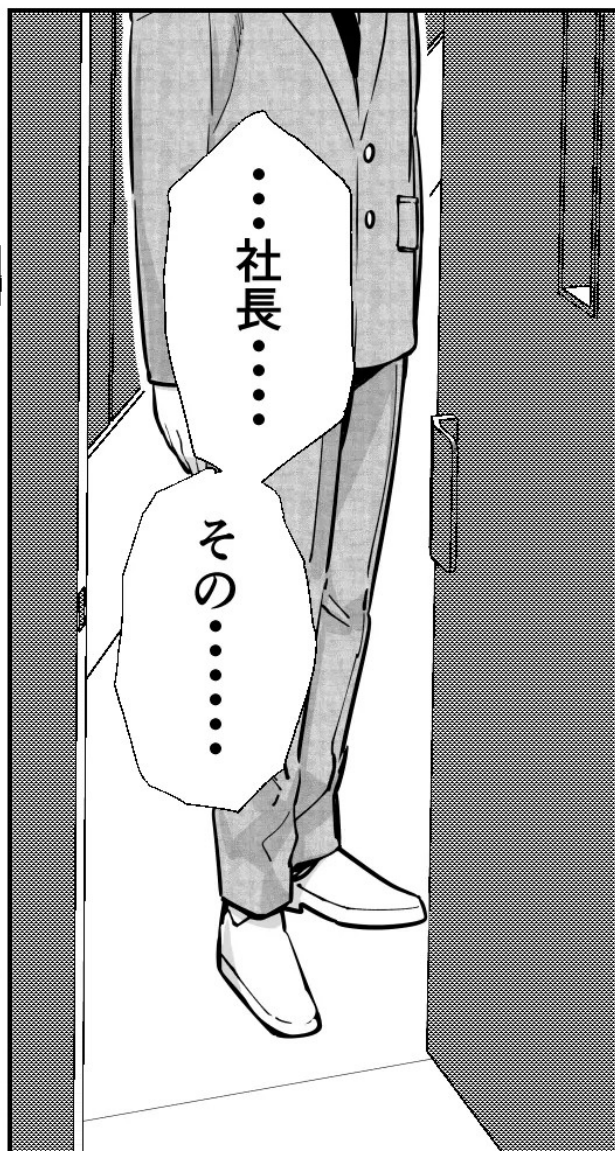
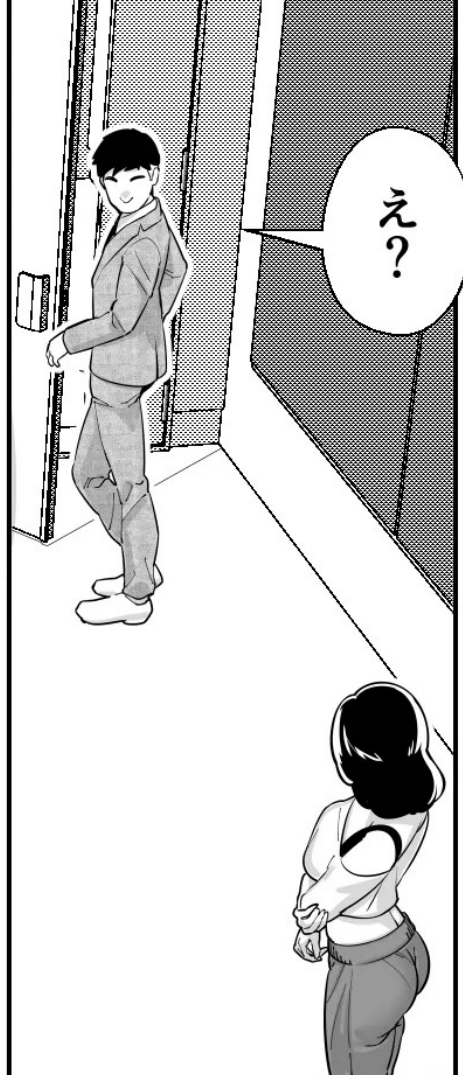
……じゃあ
すみませんが
お先に失礼します

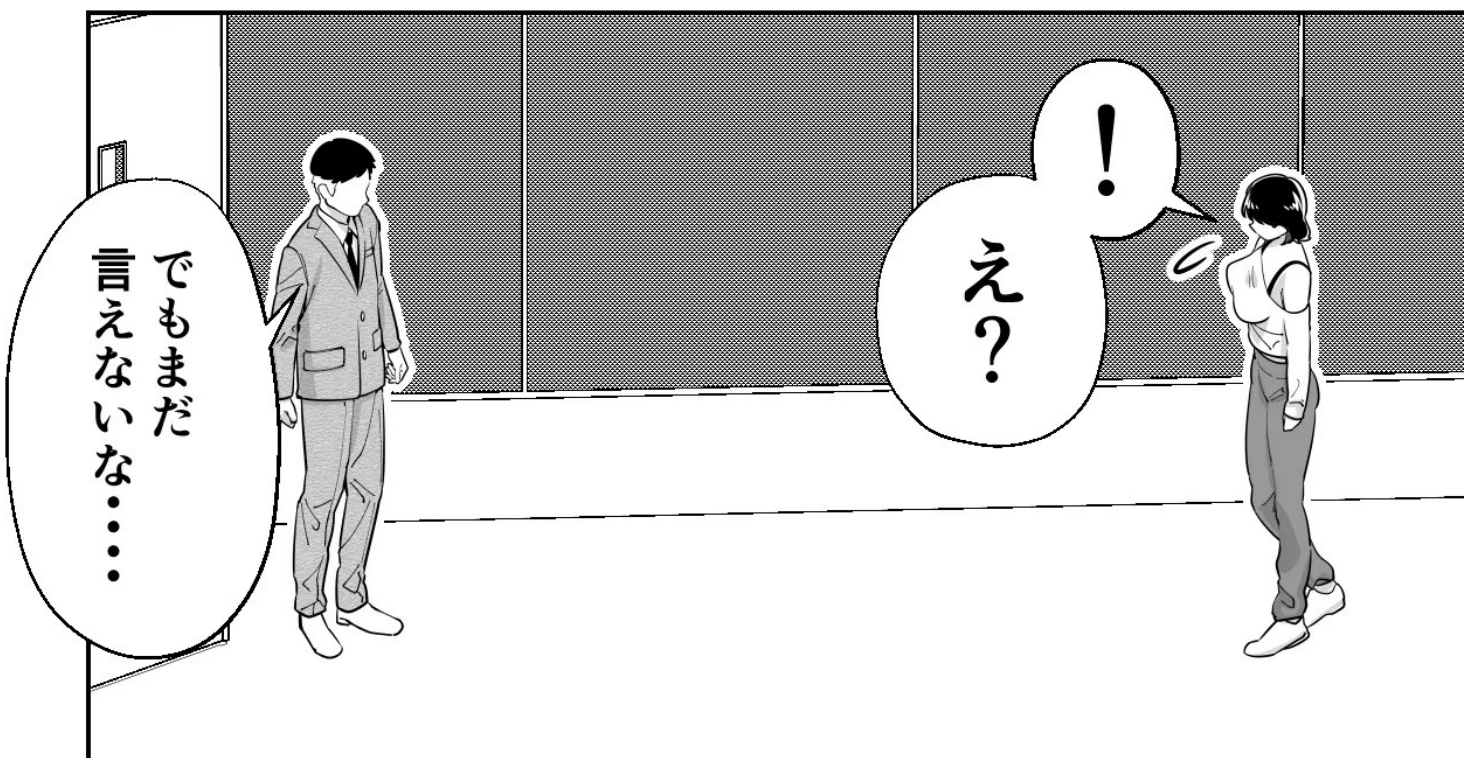
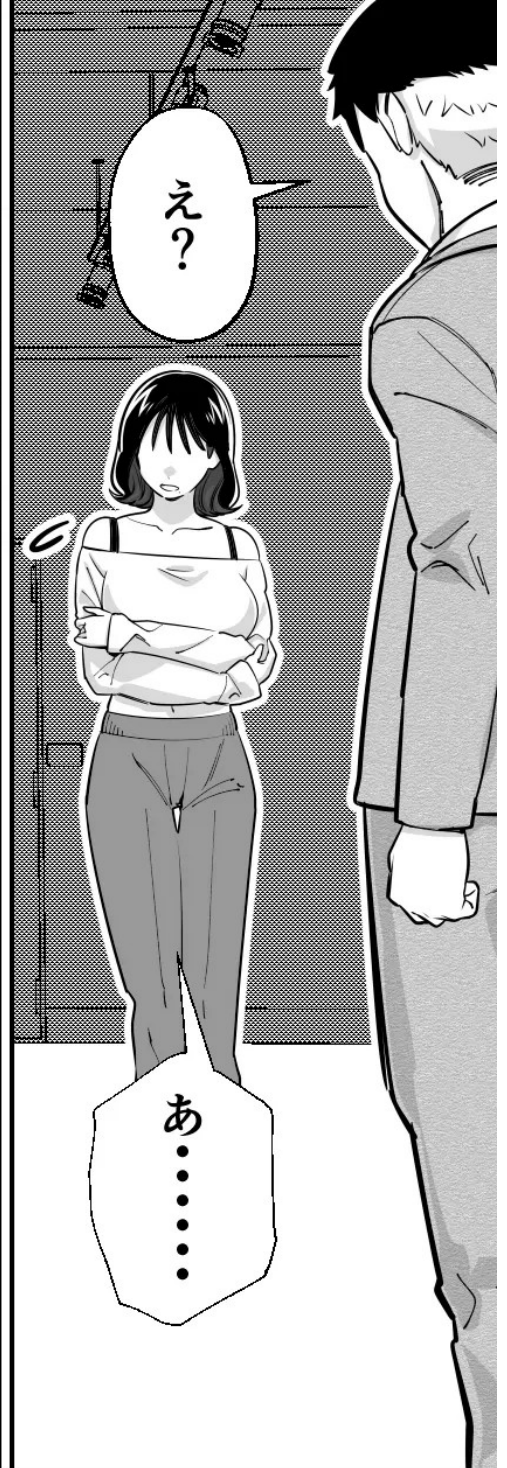
ああお疲れ様

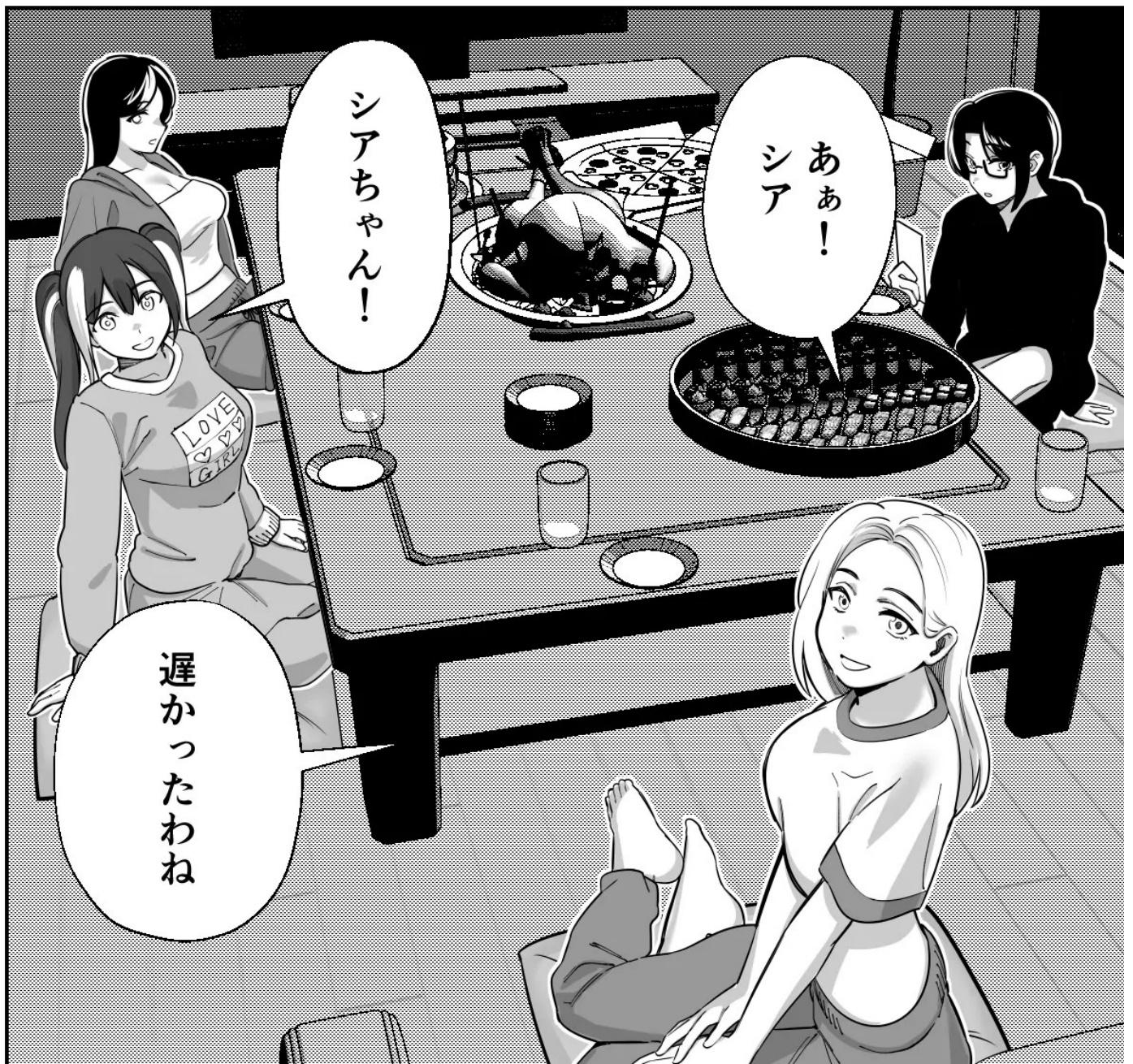












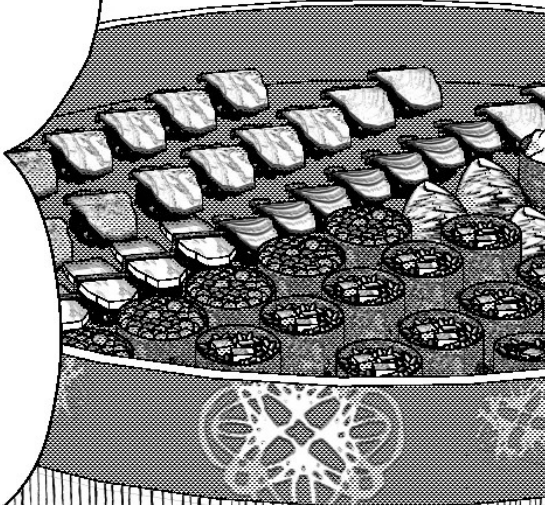
どうしたの？
これ

ああ…
なんか社長がさ

3周年記念
ってことで
飾り付けと…

あとお寿司とか
ケーキとか

色々用意
してくれてた
みたい



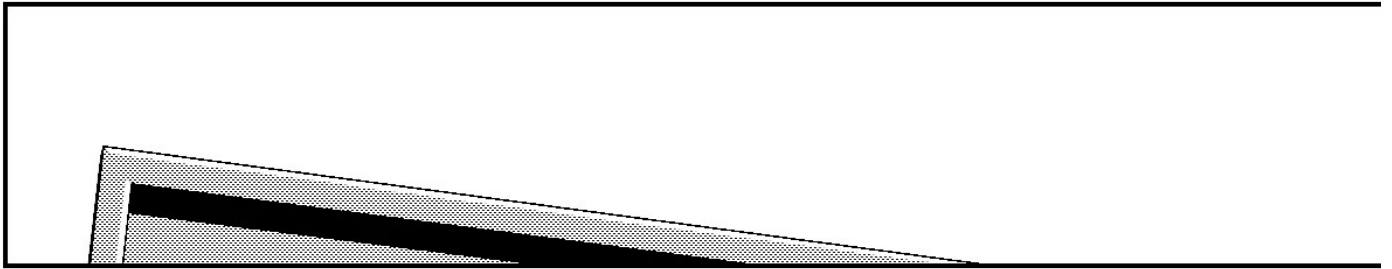
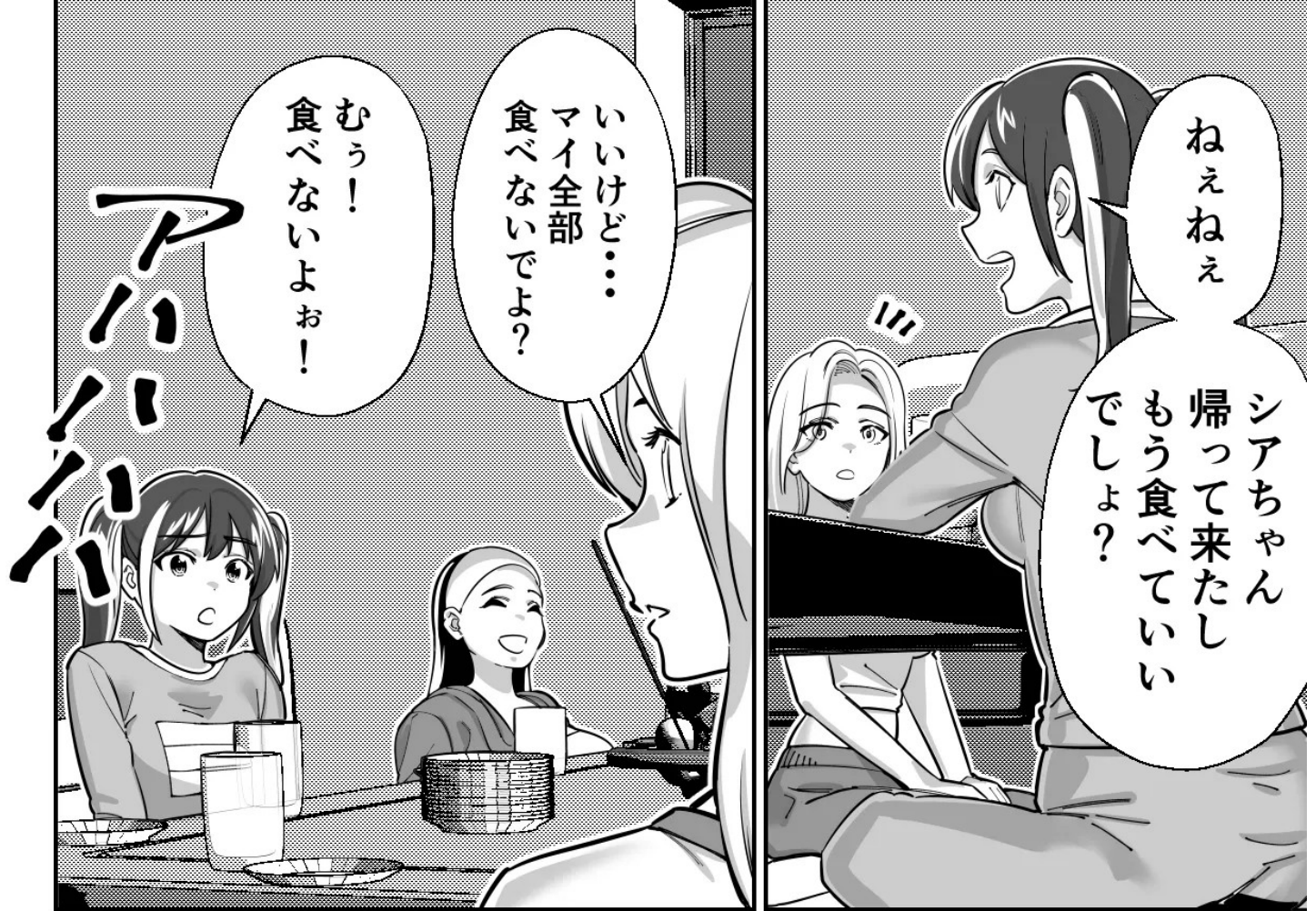
帰ったら
何かわかる
かもね

社長も
意外と気が利く
よね

こういうので
いいんだよ
こういうのでさ

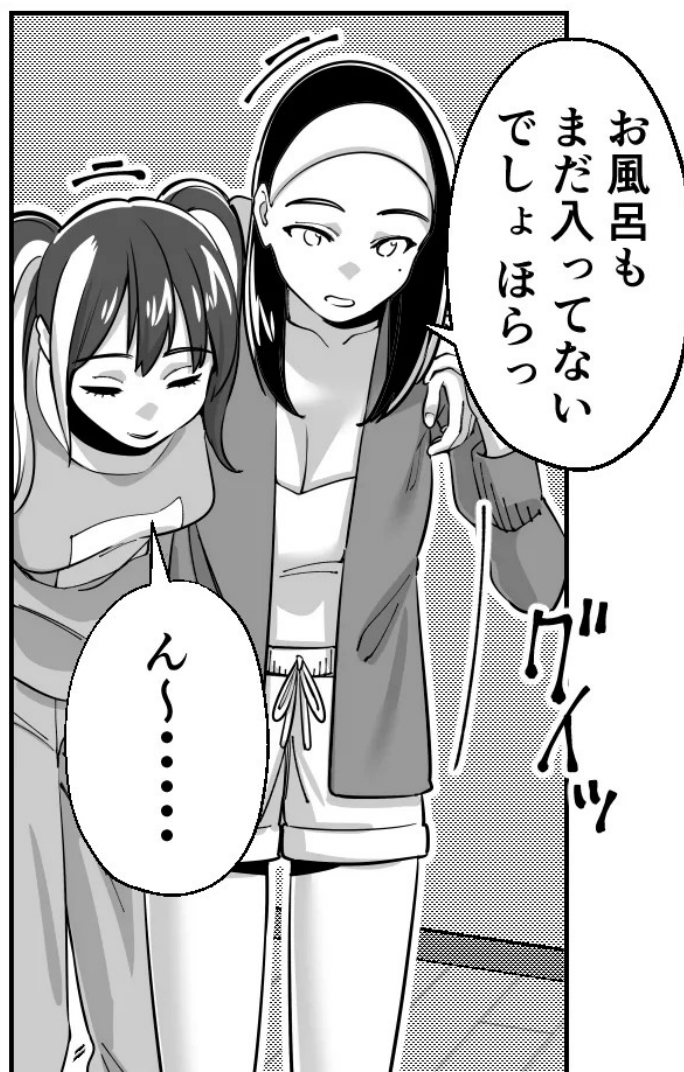
確かに…
結局こういう
のが一番嬉しい
かもね







それで
この体型
なんだから
羨ましいわ
ホント









社長が
苦手だったん
だよね……

……わたし
正直……

ずっとその……



怖いとか
何とか

ああ……
言ってたね
そういや
まだデビュー
し立ての頃に

え？社長？

え？怖い？
どこが？
社長の？



その……

いや……
その怖いというか



聞いたんだ
会社で
……

?聞いた?

そう……

結構昔の話
なんだけど
……

まだ前のオフィス
だった時ね……



私がダンスの
練習で遅くまで
残って
その帰りに……

事務所の扉が
開いてるのが
たまたま見えて

一応
閉めておいた
方がいいかなって
扉を閉めようと
したら……



真っ暗な部屋の
中でほんのり
明かりが見えたの

よく見たら
社長が居て
.....

パソコンを
食い入るように
見てた

たった一人で
しかもこんな
真っ暗な中何して
るんだろうと
思ってた

少し怖く
なったんだけど
一応挨拶しようか
と思った矢先

社長が一言
呟いたの.....

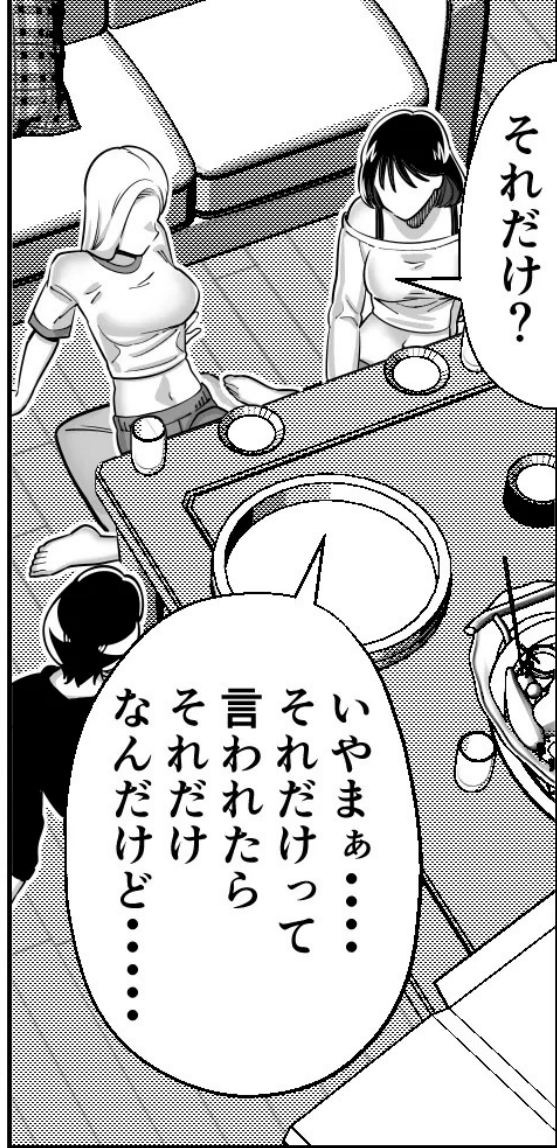
Eclipse.....
遂に始まったぞ.....

私の夢.....
私の計画が.....



……でもその時の
社長の顔が

忘れられなくて
……



?……
それだけ?

いやまあ……
それだけって
言われたら
それだけ
なんだけど……



……そうかな?

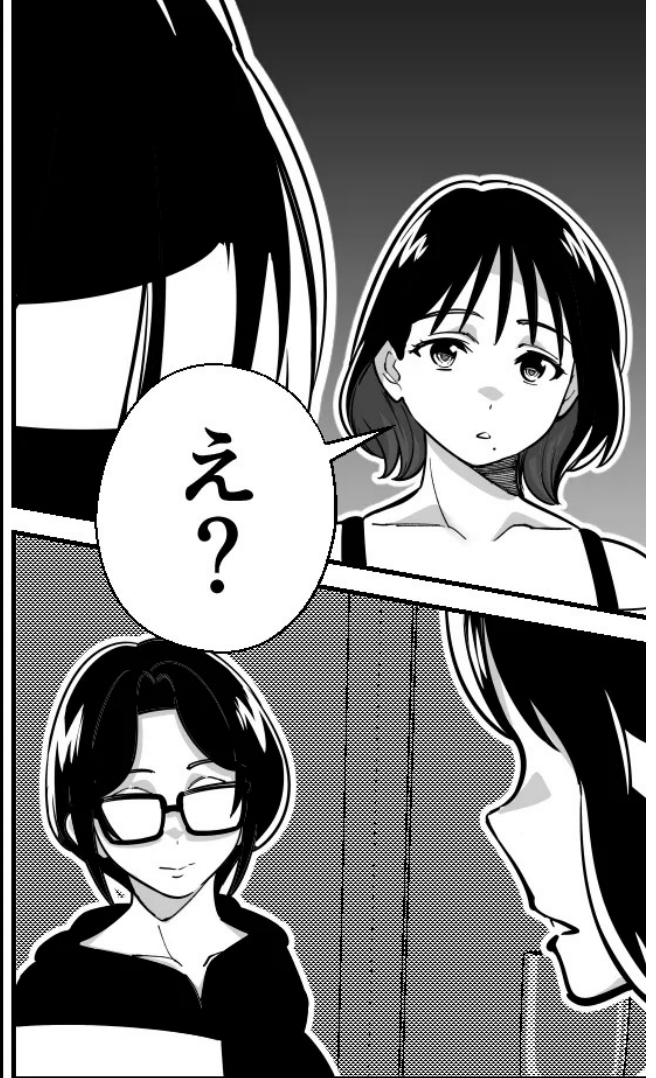
ボツッ

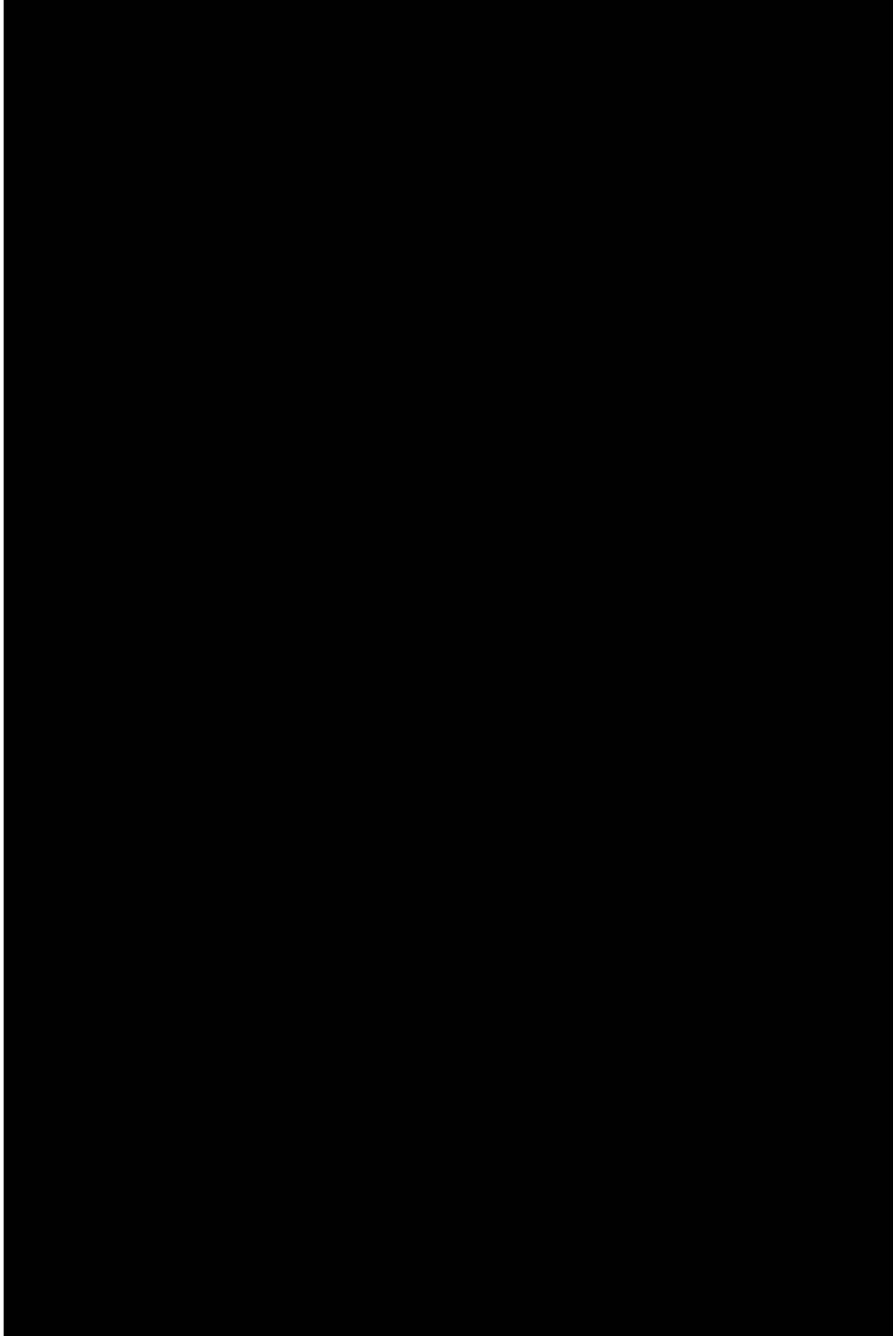


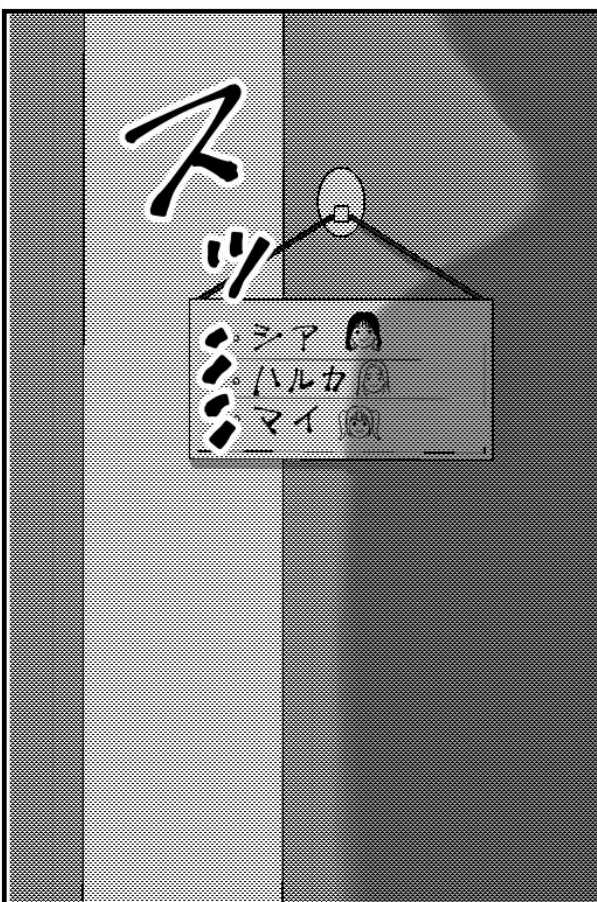
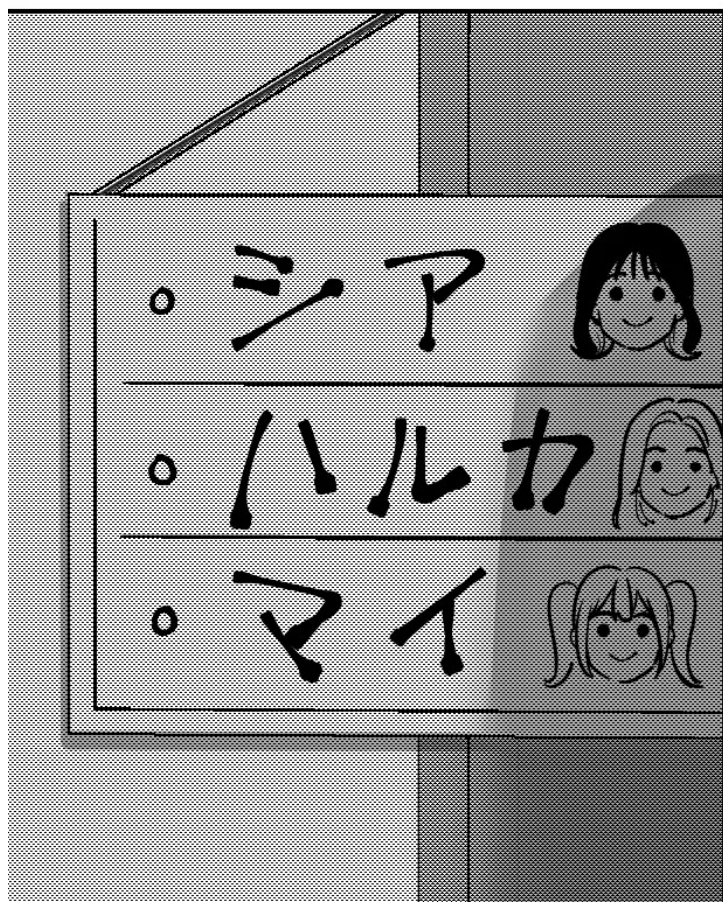
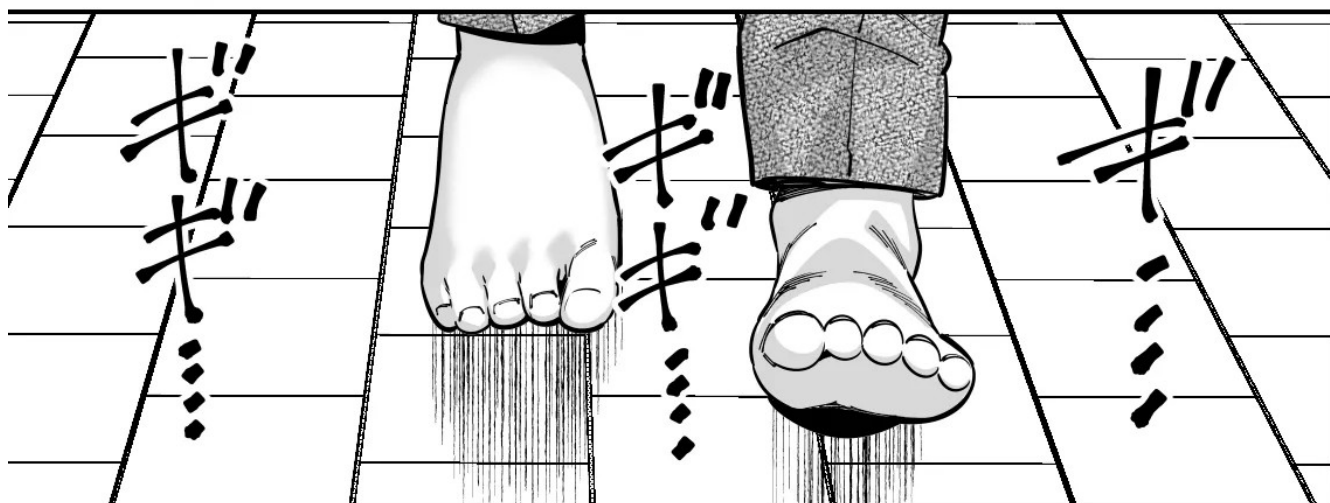
ふうん……

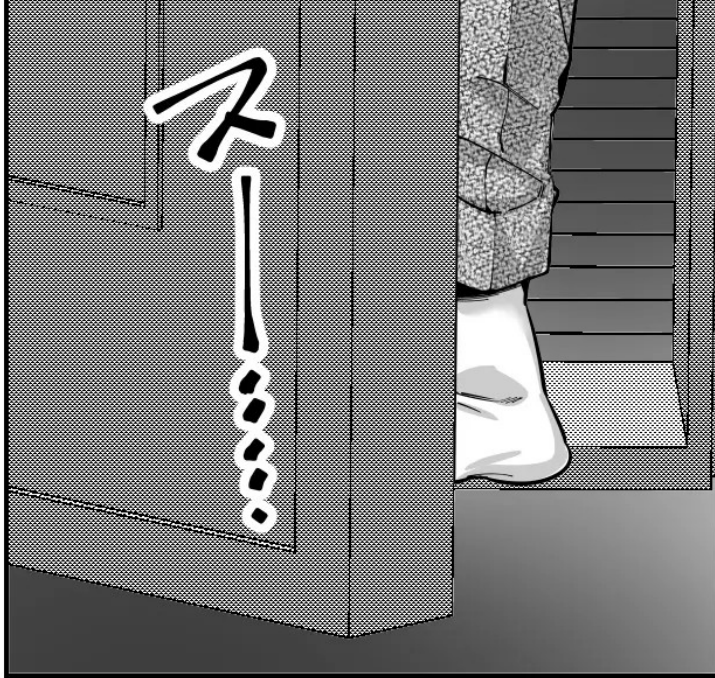
まあでも結局
4年間特に
何もなかったし
……

私が悪く考え過ぎた
だけかもって
気もするけど……









フフフ……
3人ともよく
眠っている……

さすが
超強力な
不眠治療薬
……

アメリカから
わざわざ
輸入した甲斐が
あったな
……

フフフ……

流石に私も
かなり興奮
している
ようだ……

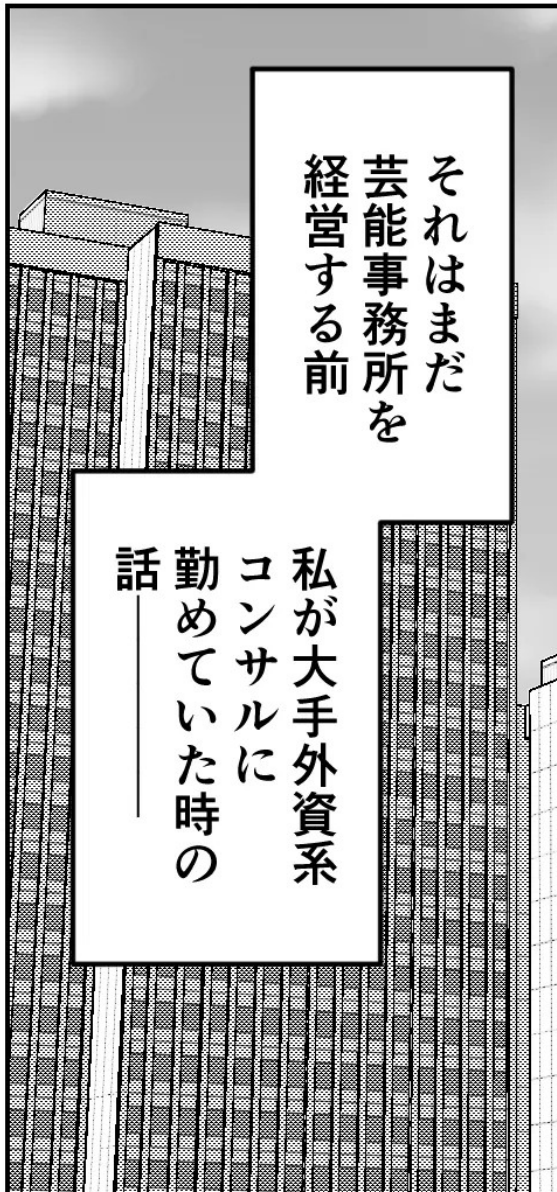
……まあ無理も
ない……

ドク
ドク
ドク……



遂にこの計画の
最終段階に
入れるん
だからなア……!

そう――



それはまだ
芸能事務所を
経営する前

私が大手外資系
コンサルに
勤めていた時の
話――



私は数々の
事業を成功させ

業界では
知らない者は
いないと
言われるほど
の人間で



まさに
フィクション上の
エリートを

地で行くような
存在だった



そんなある日
ある芸能事務所から
立て直しの相談が



ある一人の
女性が同席
していたのだが



その初めての
打ち合わせ

その時だ

初めて女性に好意
というものを
抱いたのは――



彼女は言わば
事務所一押しの
タレントで

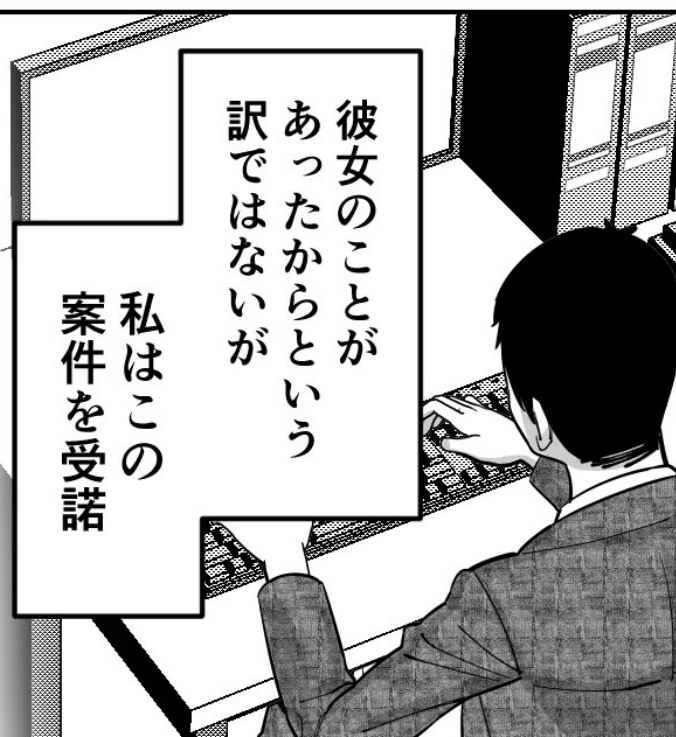
先日ソロデビューが
きまったばかりの
新人アイドルだった



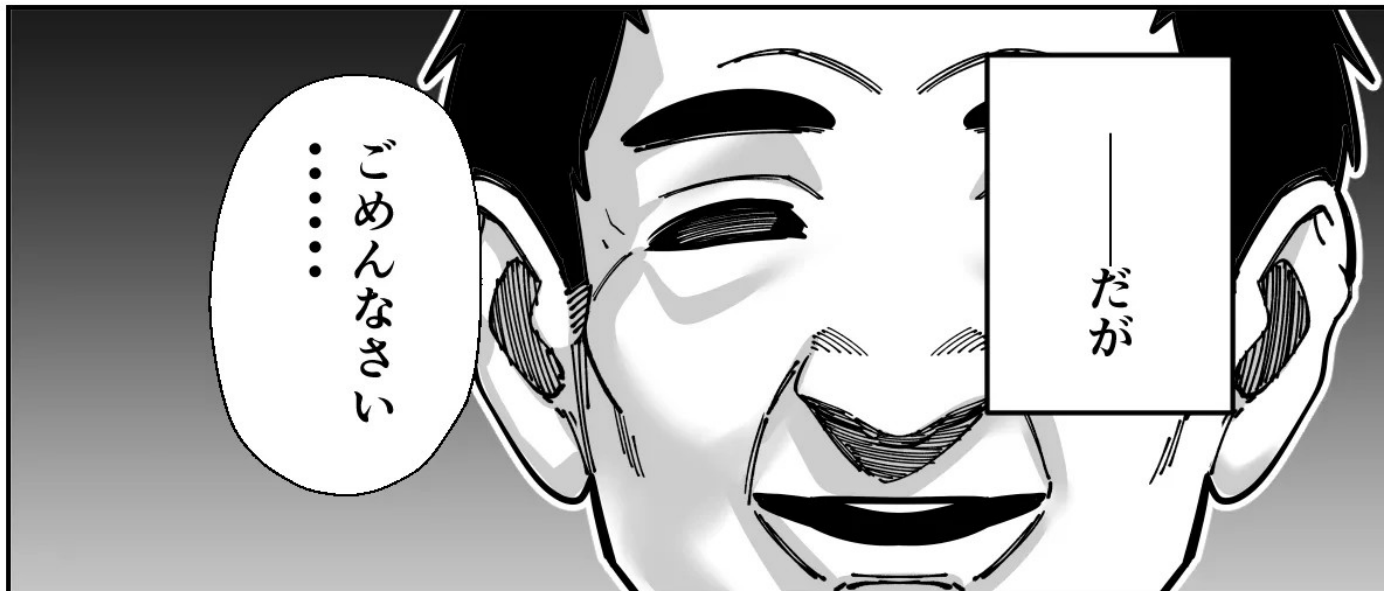
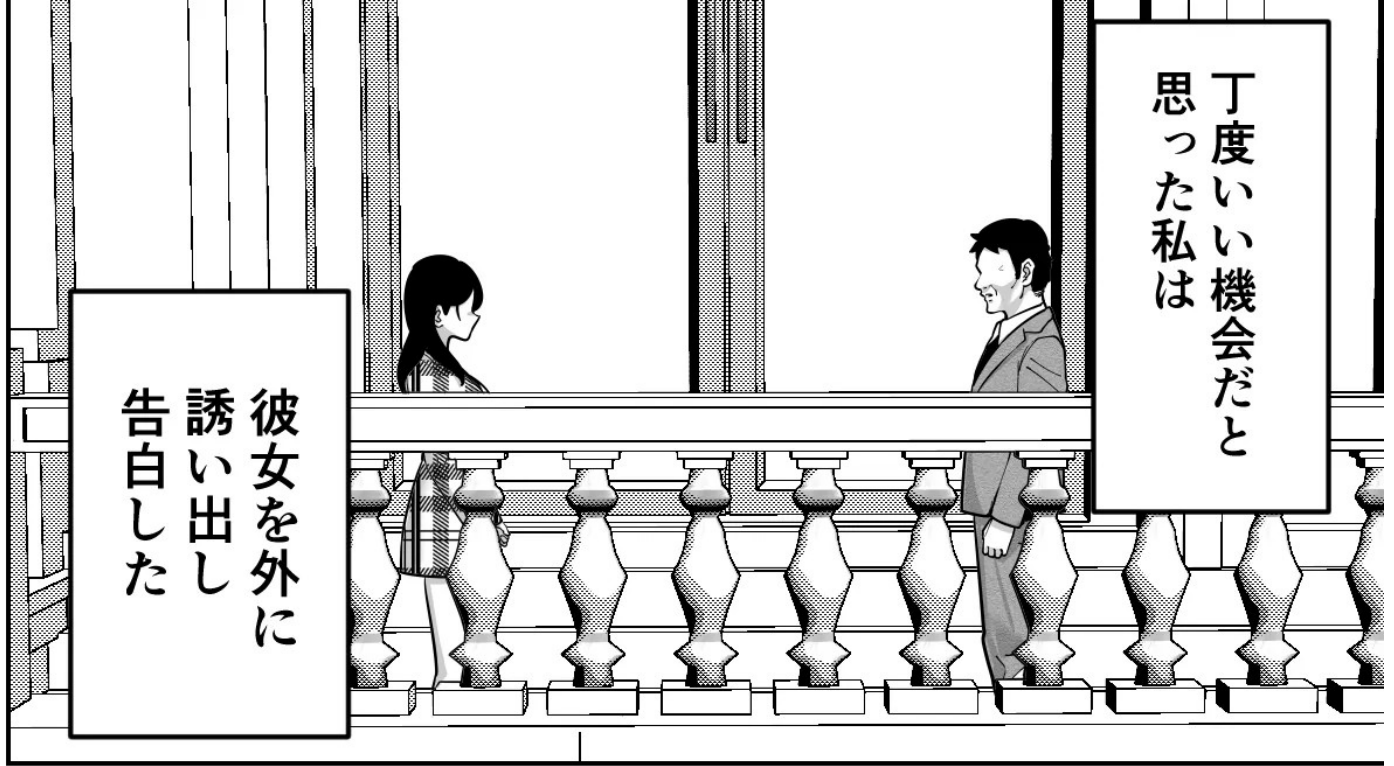
彼女のことが
あったからという
訳ではないが

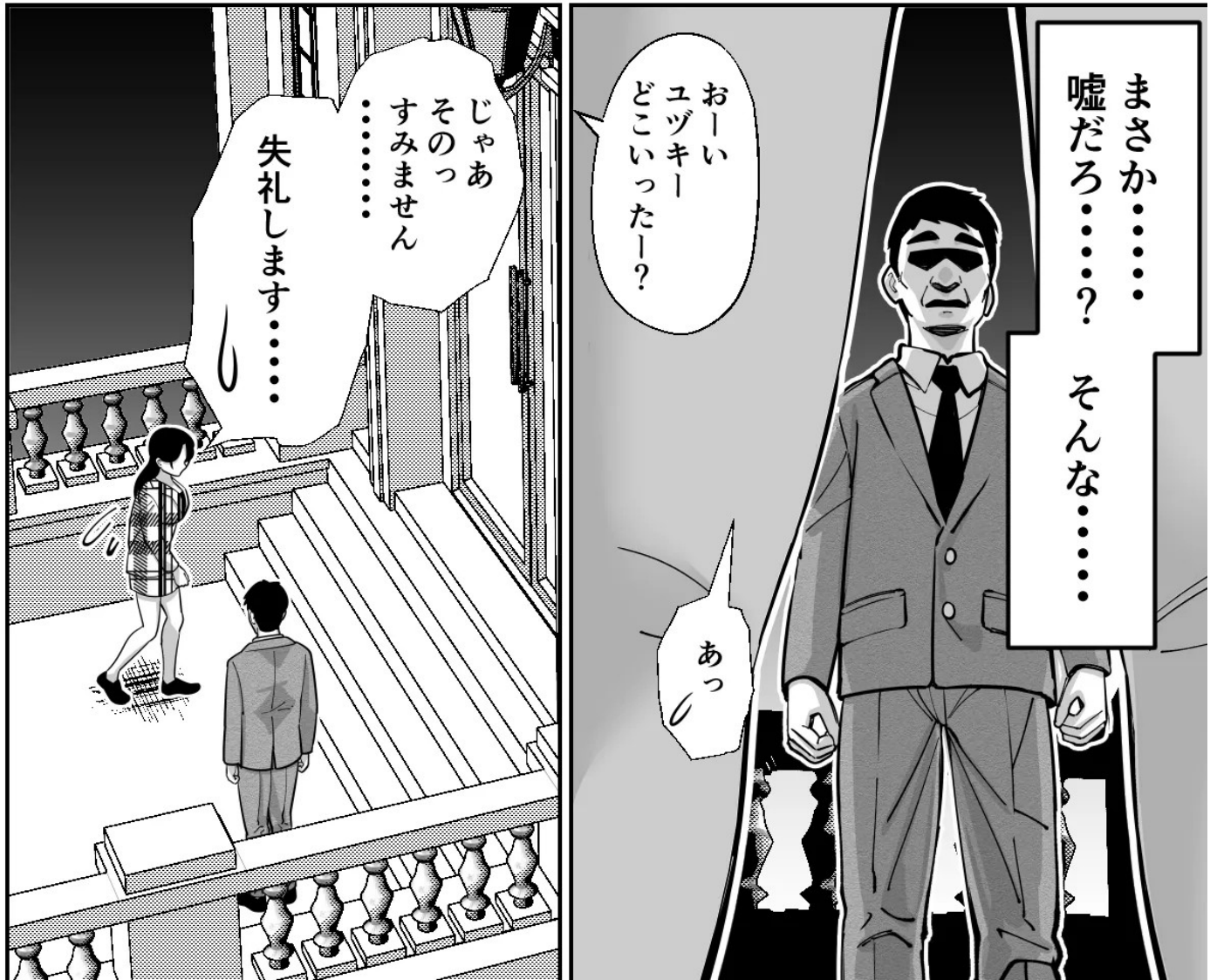
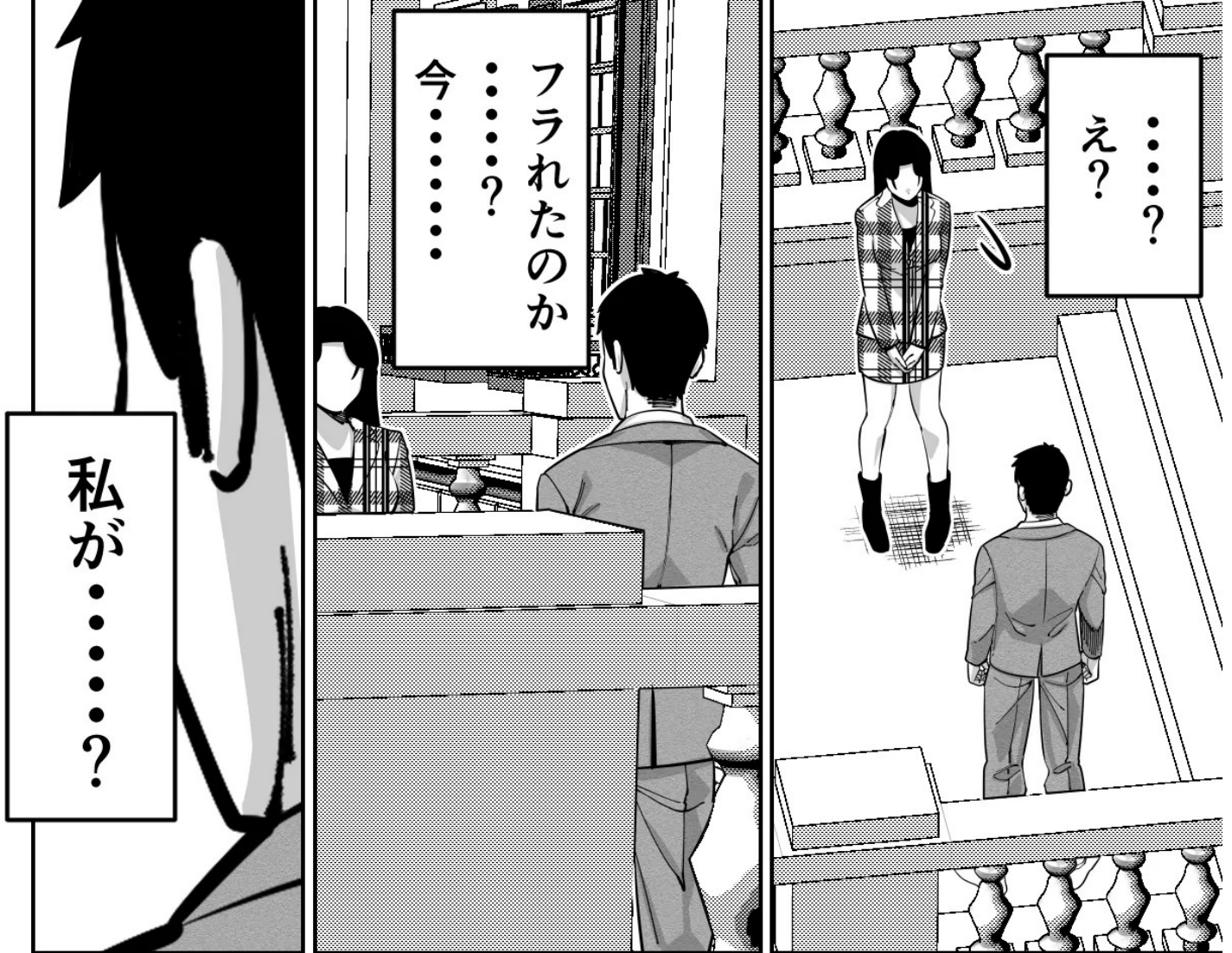
私はこの
案件を受諾

いつも通り
次々に画期的な
再建案を実行
していった











この私が
フラれる
……？

あり得ないだろ
……



相手はたか
がアイドルだ
ぞ……？

本来なら
一生手が
届かないほどの
エリートだぞ？
私は……



なのに
どうして……？



それに会社を
救ってやった
恩まである……



アイツが……

「アイドル」
だからだ



……いや
違う……

違うんだ

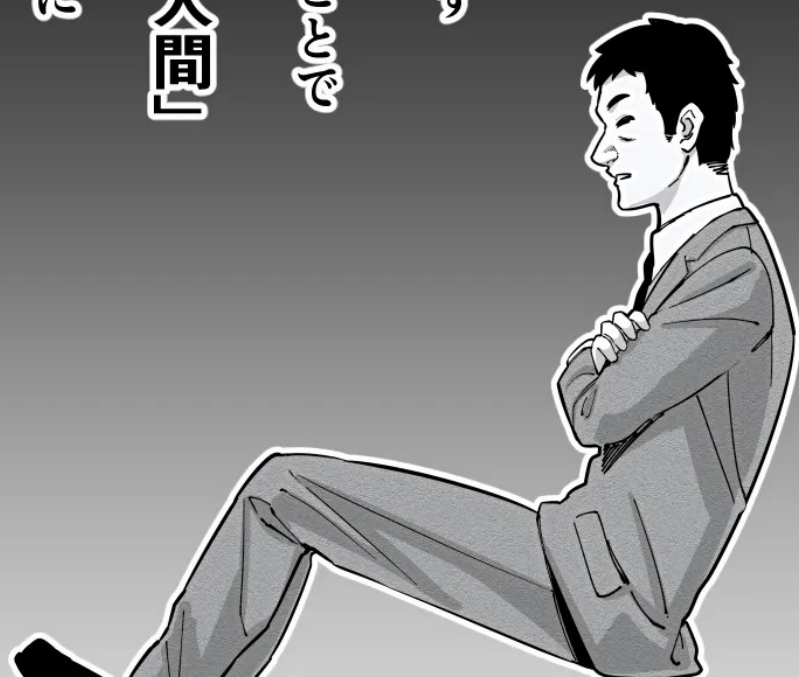
……

そうじゃない

……

本来なら私とは
一生関われ
ないような
実績も実力も
何もないような
人間にも関わらず
周囲の人間に
持て囃されることで
まるで自分が
「価値のある人間」
だと勘違いして
しまう様な環境に
いつもいる
「アイドル」なんて
仕事をしてるから
あんな「勘違いした」
行動を取って
しまったんだ
そうだ……

そうに違いない
……！



……でも
だったら



誰かが
わからせて
やらないと
いけないん
じゃないか
……？

本来なら
何も価値のない

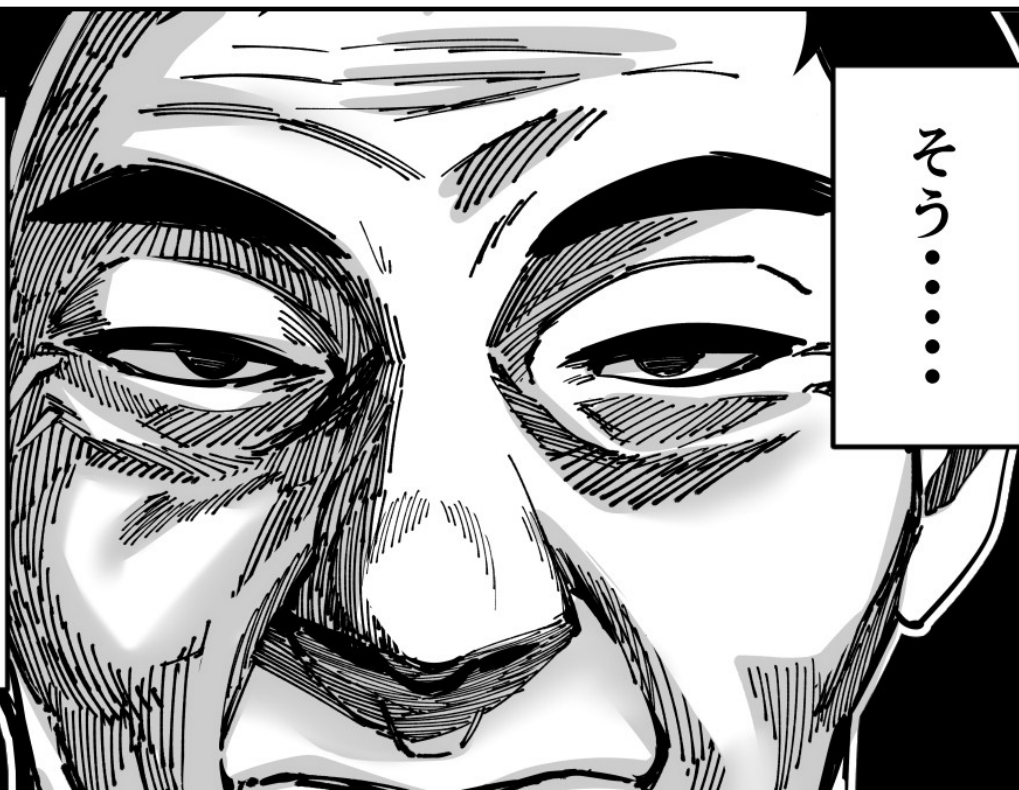
周囲の人間が
いなければ
何もできない
ような人間
であるとい
うことを

誰かが

わからせて
やらないと
いけない
じゃないのか？

そう……

誰
か
が



そして私は
会社を設立し

Ⅰ S エン

今に至る

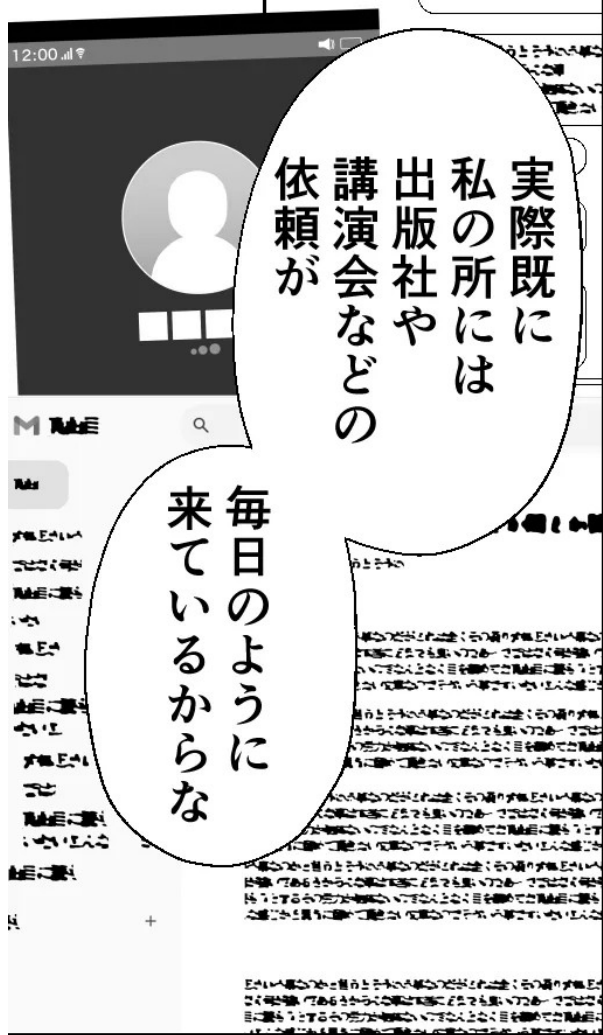
というわけだ

ではなぜ
そのために
わざわざ会社を
設立する必要が
あったのか？

それには
2つの理由が
ある

一つは
本当にお前たちは
「ただ作り上げ
られただけの
存在」なのだ
ということを

改めて世間に
証明した
かったからだ



そして
もう一つの理由

それは――

いずれお前たちが
ただの凡人である
事は公知の事実
となるだろうが

それと同時に
やはりお前たち
自身の意識改革も
必要だからな

おまえたち
アイドル達
への「教育」だ

そこで考えた
方法が――

ニッ

おまえたち
アイドルを

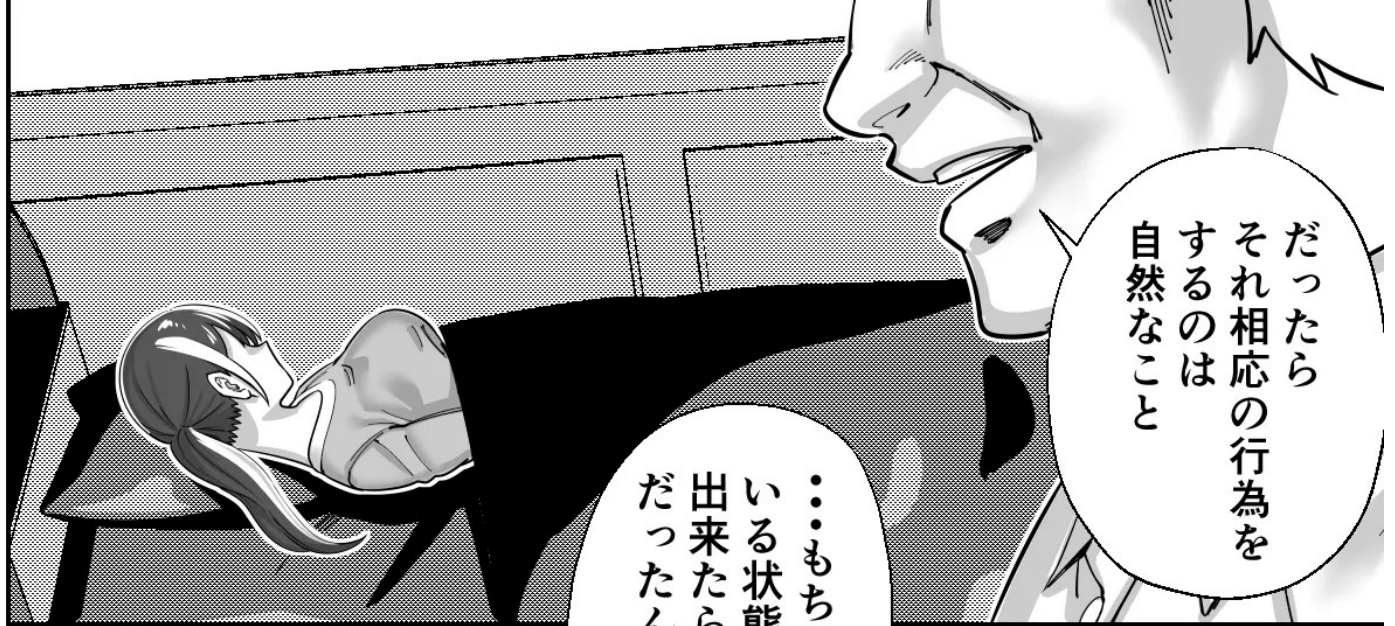
レ○プする
という方法だ

「なぜそんな
ことを？」
と思うか？

……だが
考えてみれば
当然の事なんだ

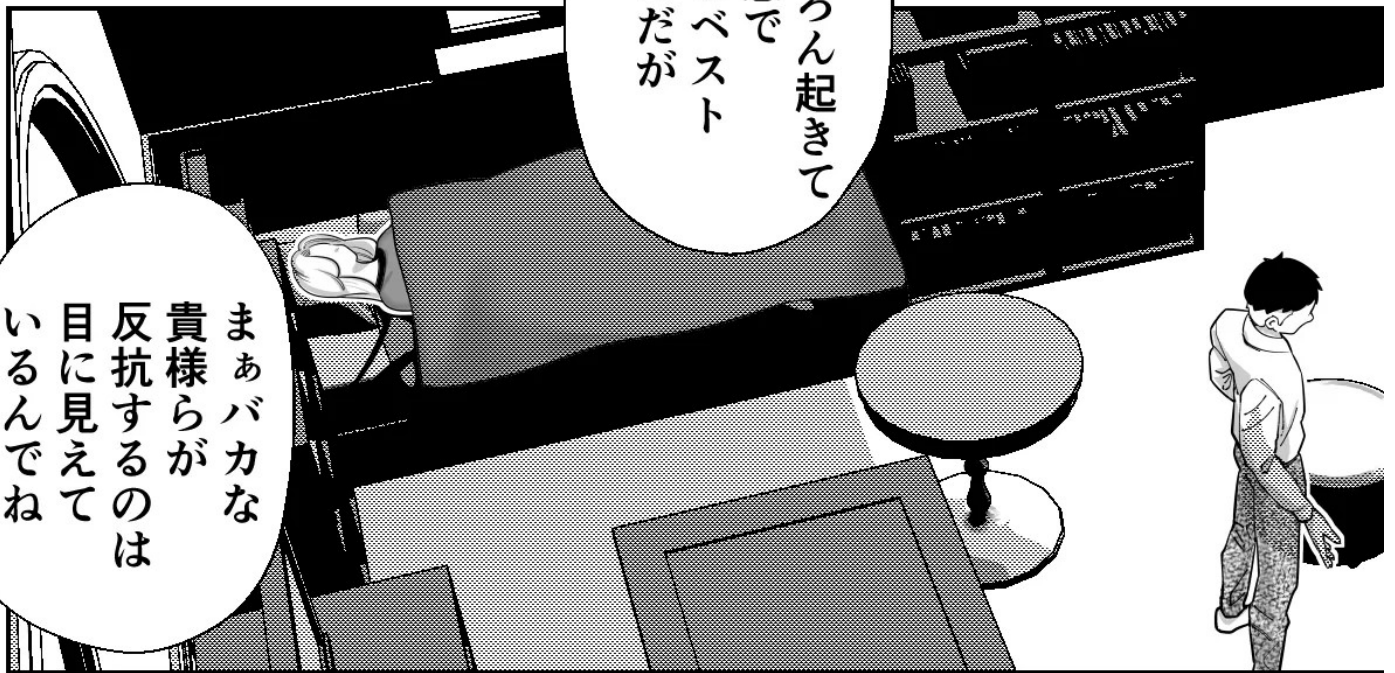
お前たちは本来

ただの慰め者
程度の存在
でしかない訳だ



だったら
それ相応の行為を
するのは
自然なこと

……もちろん起きて
いる状態で
出来たらベスト
だったんだが



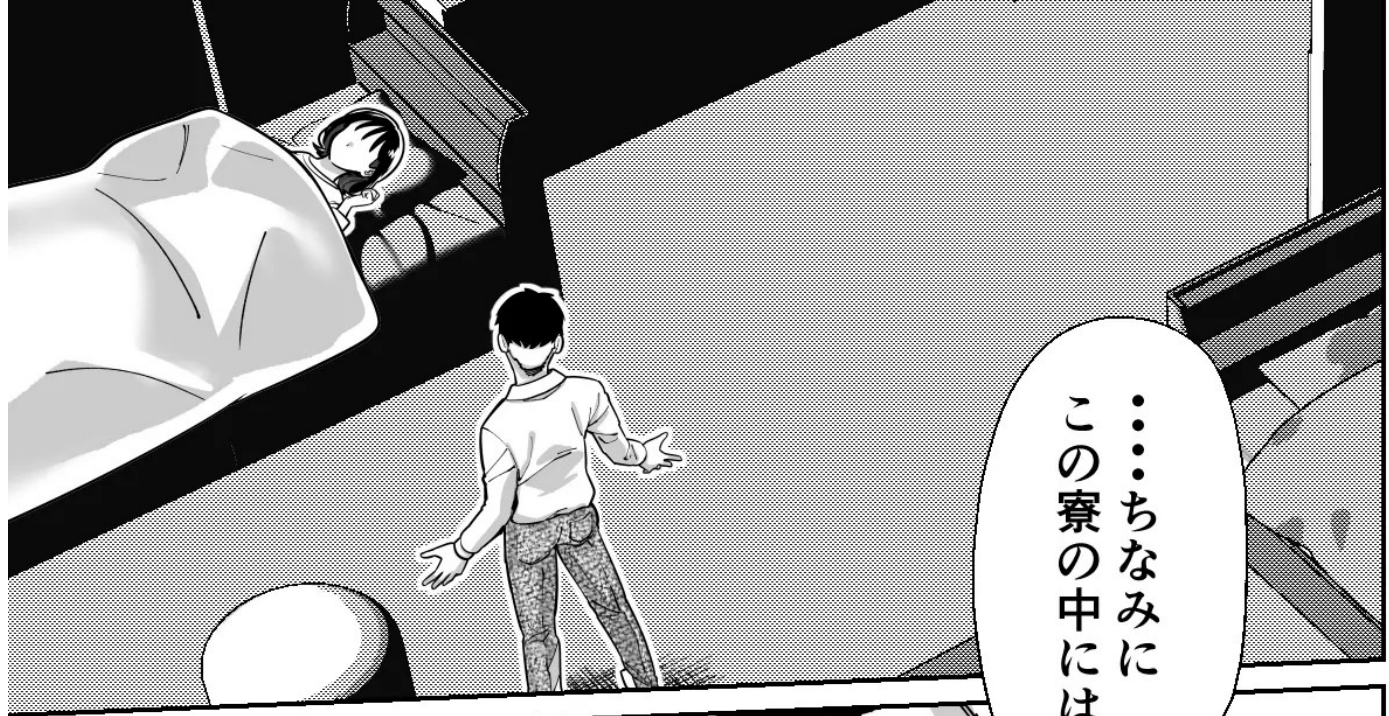
まあバカな
貴様らが
反抗するのは
目に見えて
いるんでね



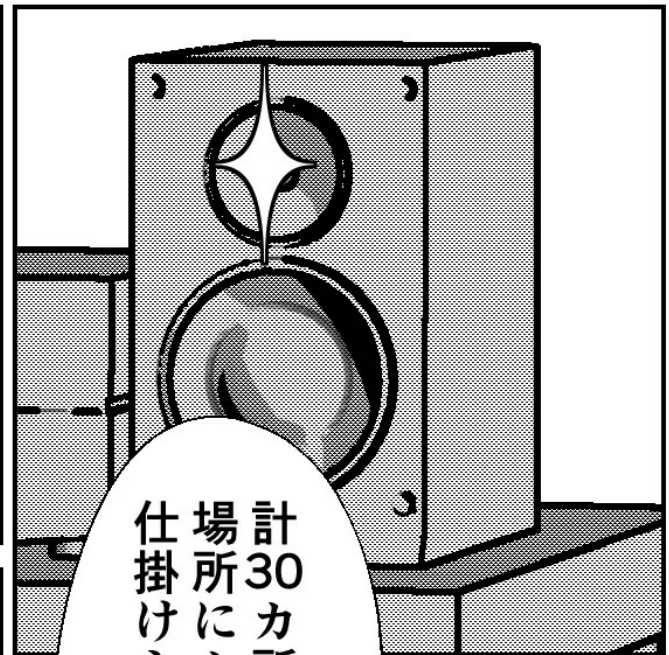
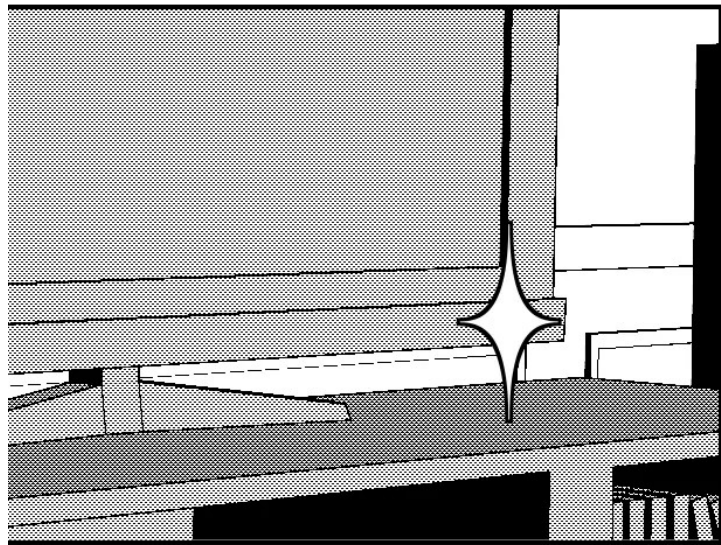
とりあえず
「体」にだけでも
わからせて
おいてもいいん
じゃないか
と思った訳だ

どうだ？
素晴らしい
計画だろう……？

クククク……

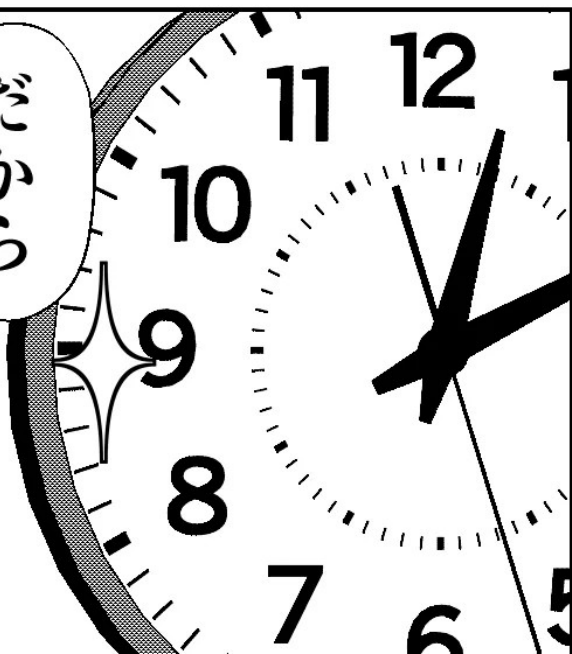


……ちなみに
この寮の中には



計30カ所もの
場所にカメラが
仕掛けられている

だから



お前たちの
生活の全てを

お、お、お、お、お

しっかり
把握しているよ？

シア
お前が偶にトイレで
「イケないこと」
をしているのみな？

クククク……

ふー

は

カバ

ふー

ふー

ふー

ふー

ふー

ふー

ふー

ふー

ふー

……さあ前置きが
随分長くなって
しまったが

そろそろ計画の
最終フェーズに
入ろうか
……！

貴様らの
体に……

徹底的に
「教育」
してやる
……!!!



まずはハルカ……

お前は私に
対して常に
馴れ馴れしく

いつもどこか
小馬鹿にした様な
態度を取って
いたなあ？



実に「教え甲斐」の
あるアイドル
だとな？

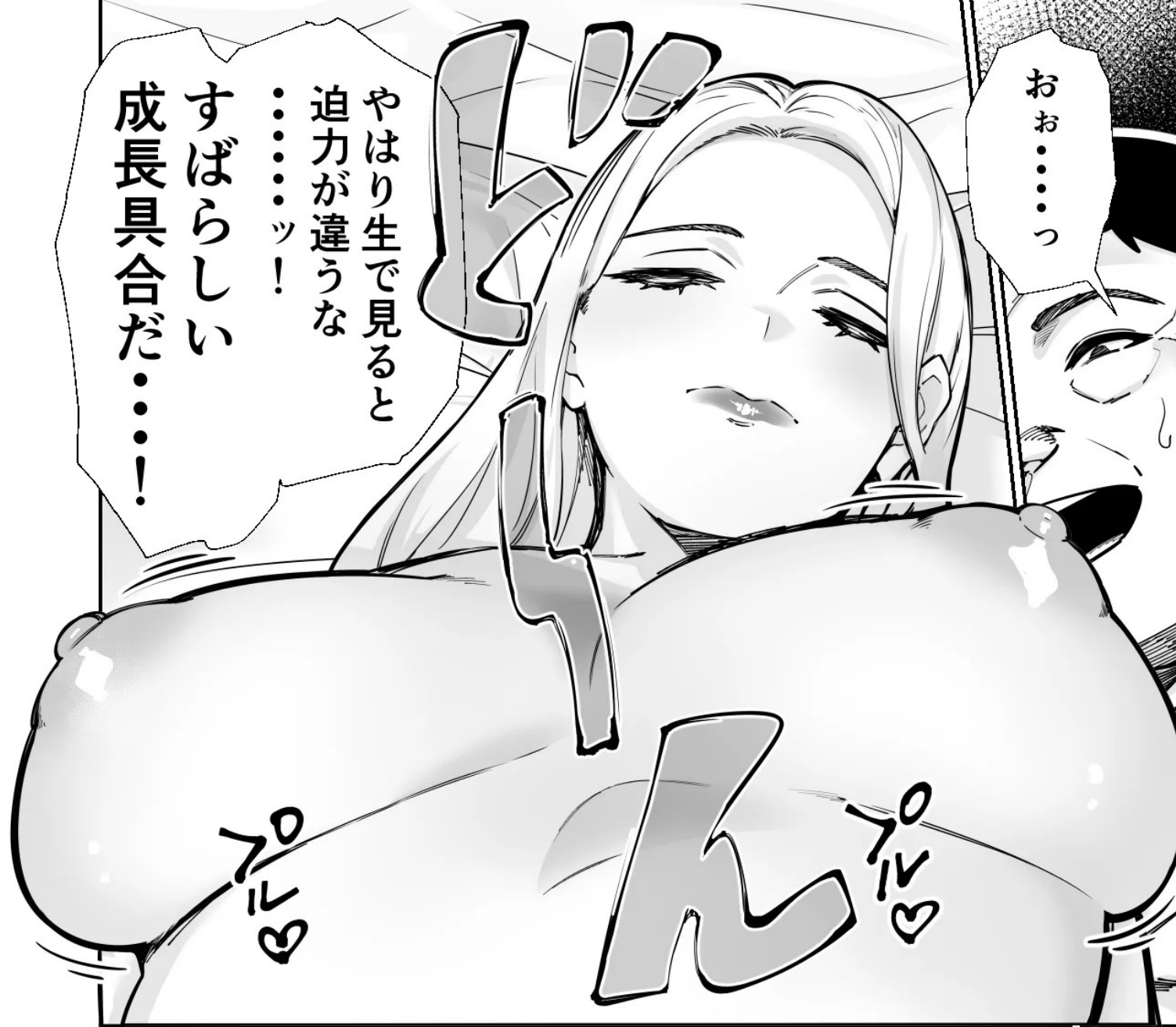
フハハハッ

カカカカ……



それだけじゃない
裏では私を
侮辱するような
発言の数々
……

私はそれを
聞く度に
思ったよ……





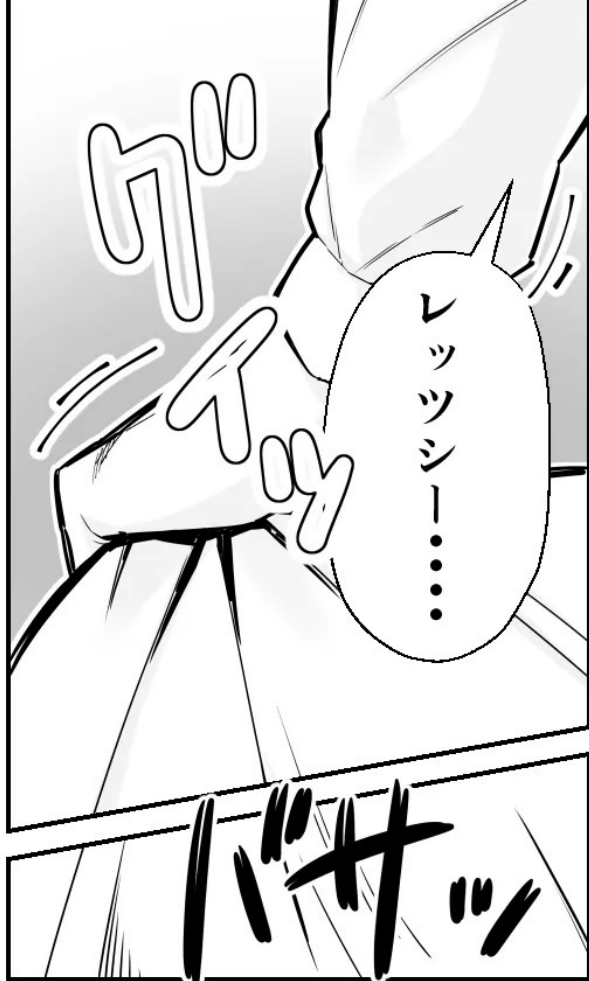
着飾っては
いても
ひん剥けば
中身はただの
メス…！

どれだけ
非日常を生き



それが
お前らの正体
なんだよッ！

フハハハッ！



レッツシー……



そして次は
マイ!



……
純粹無垢なマイ

こんなことを
するのは少々
気が引けるが
計画に例外はない

何より
遅かれ早かれ
お前もまた
この穢れた世界に
染まり

「勘違い」して
しまう日が
来るだろう……

だから
その時まで

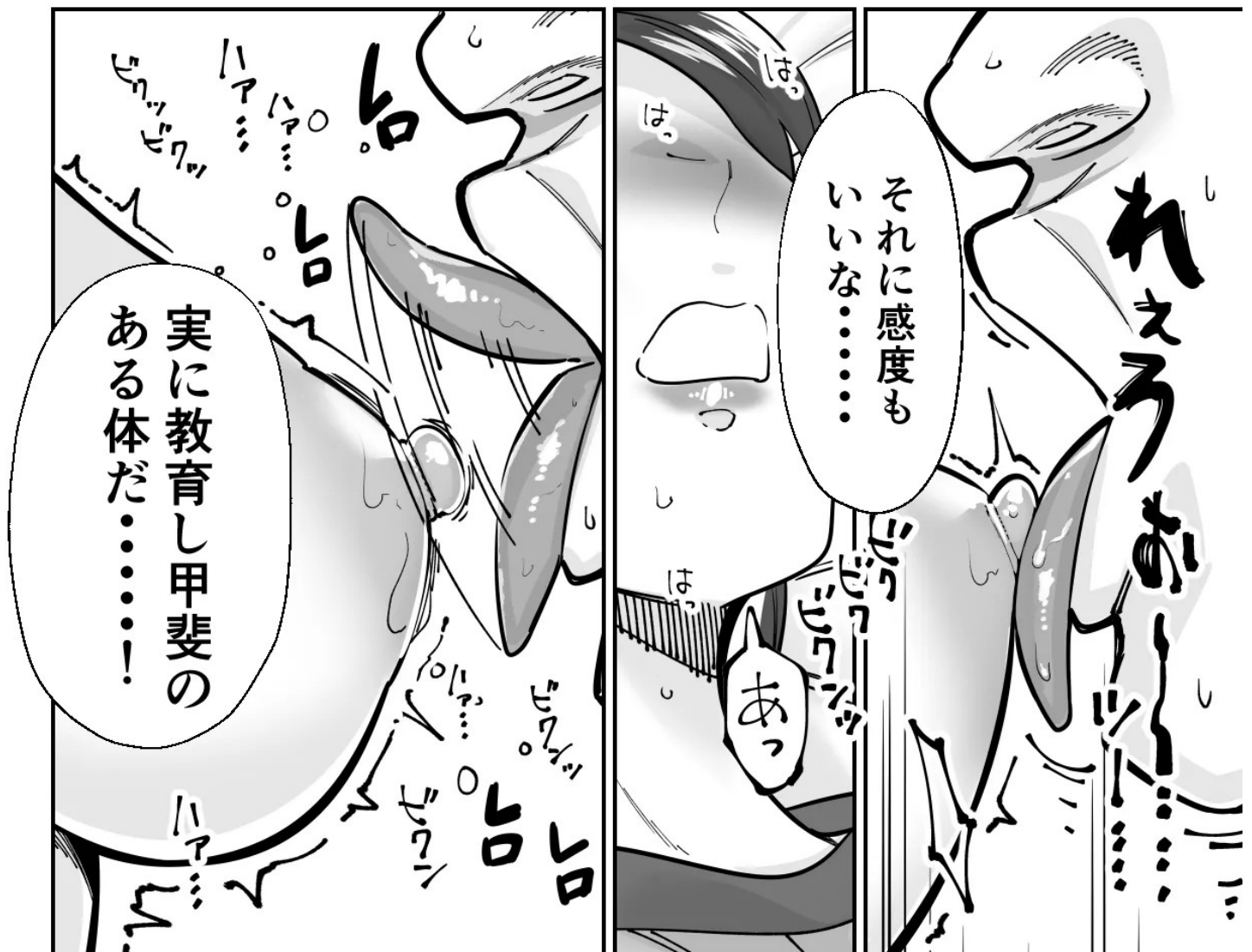
せめて
体にだけでも

しっかり
わからせ
「教育」で
やらないと
なア……！

フハハハハッ

うーん……！
やはりザ貧乳！

まさに
幼児体型
だな……！





最後にシア!

まさか「あの時」
見られていたとは
なあ……………?

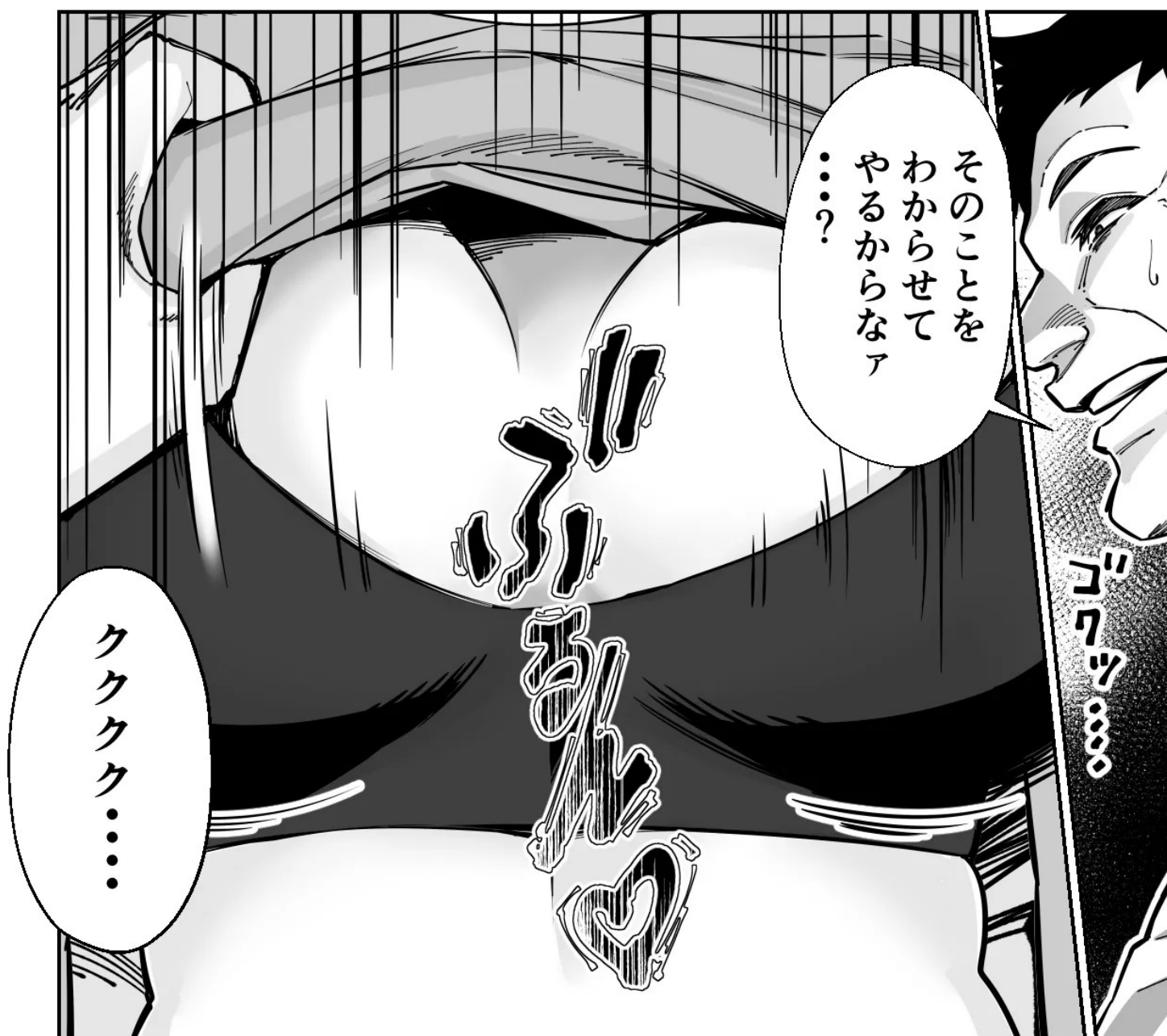
どおりでいつも
私にやたら
「思いあがった」
態度を取っていた訳だ

…だがまあ
いい

どちらにしろ
お前もまた

自分の価値が
分かっていない
からこそ

この私に
あんな「傲慢な」
態度を取って
しまうんだ



おお……

……いつ見ても
イイ体だ……

ヨキユ……

まさに男を
悦ばせる
ためだけに
生まれて
きたような
体……

さすがグループ
人気ナンバー1は
伊達じゃないなあ！

ふんふん

♡

ん

あぁ…

フハハハッ!!!







それじゃあ
早速……

「本番」と
いきますか
……!

ピッ……

じゃあまず
はハルカ……!

やはり処女……
ではないが
キツイ……!

入所してからの
恋愛禁止は
恐らく守って
いたんだろうなッ!

ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん

意外とマジメ
じゃないか!

フハハハッ!













激キツマ〇コで

ああ……

ダメだ……ッ



もうイッちまう
……!!

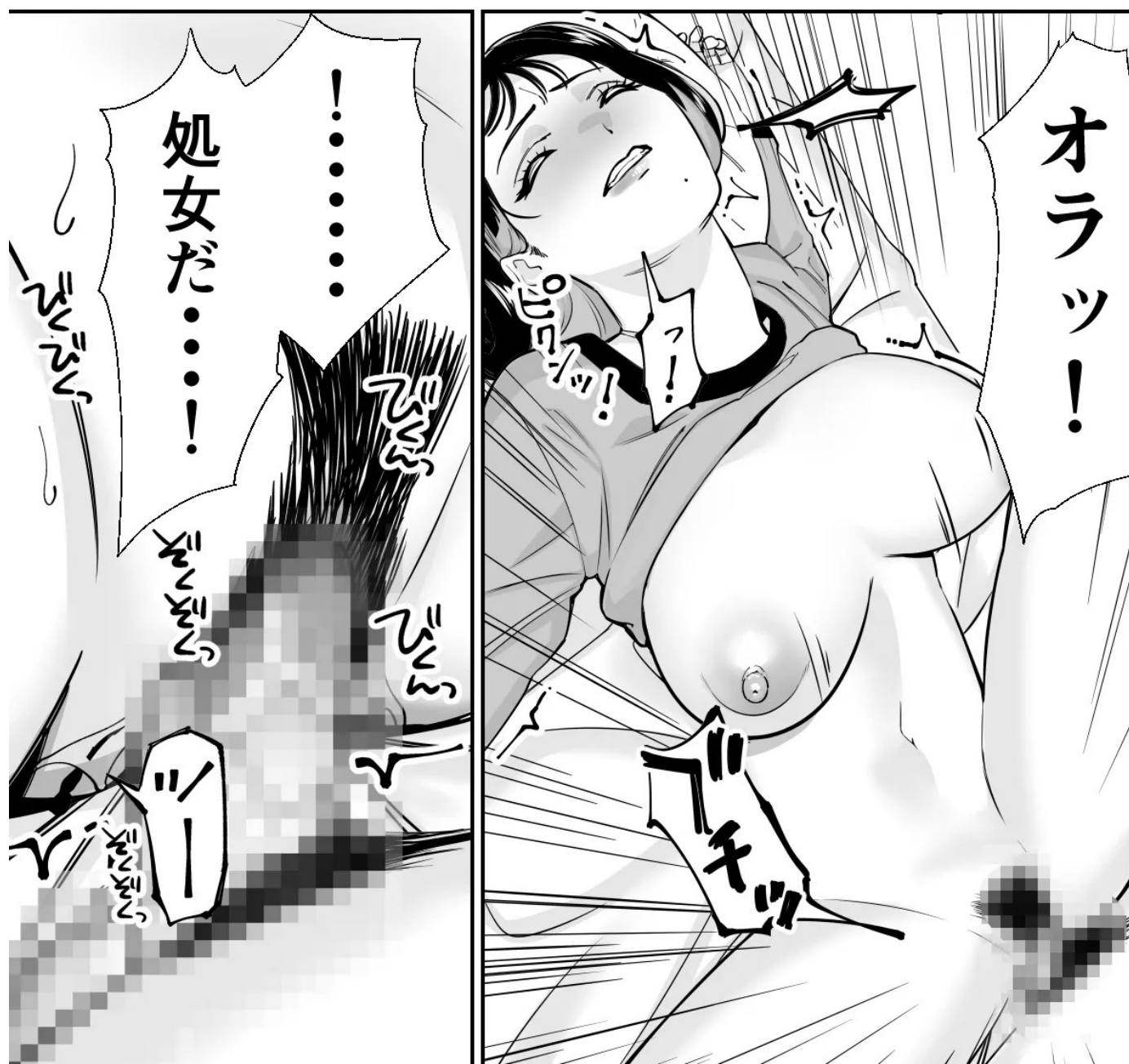


そして最後は
シア……!

あ………?

オマエは処女か
非処女か……
どっちだあ……?

ハチッ
ハチッ



オラッ!

っ!
ハチッ!

ハチッ

……
処女だ……!

ハチッ

ハチッ

ハチッ

ハチッ

「あの」シアの
処女を……

この私が

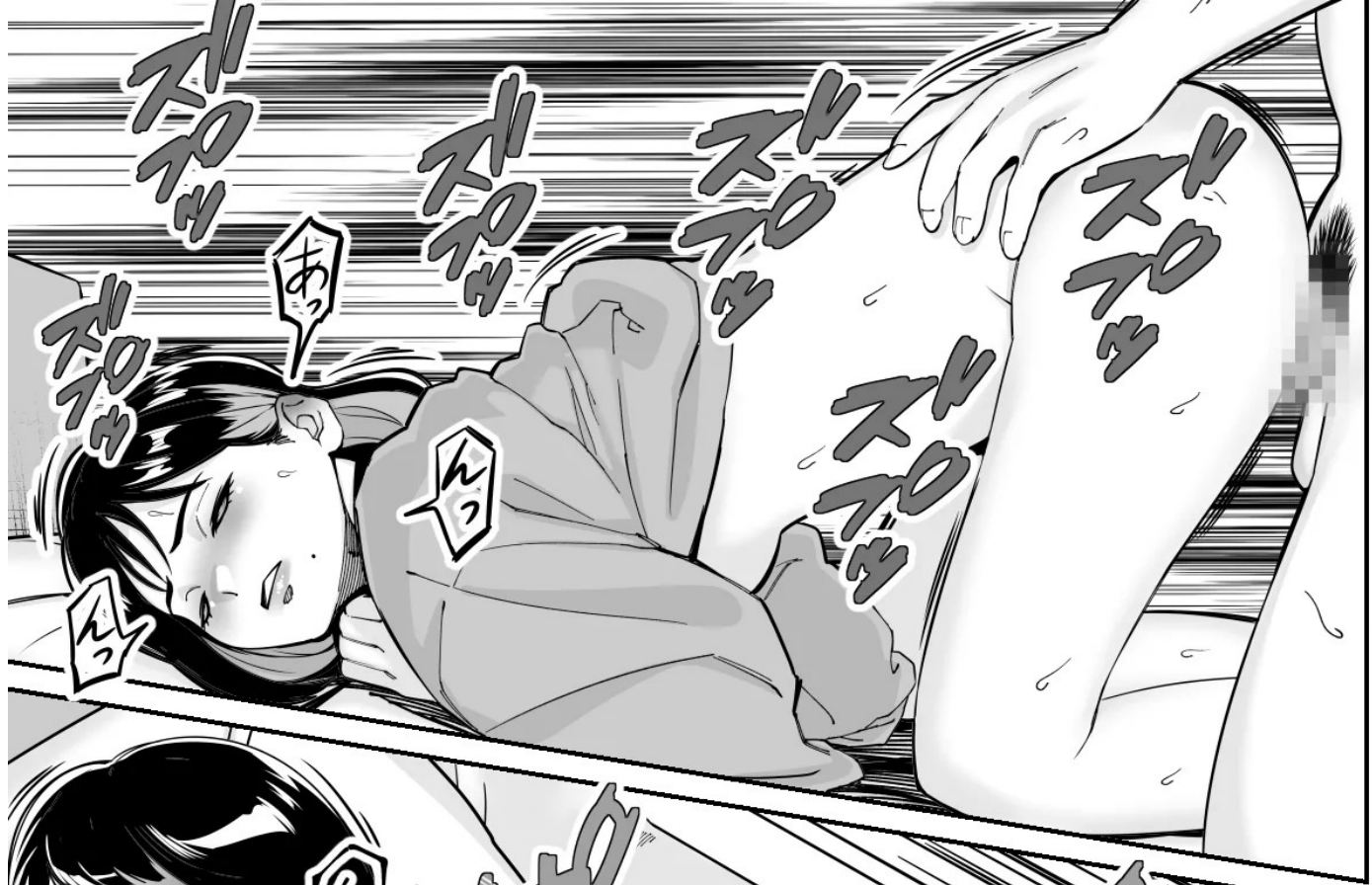
奪ってやったゾオ！

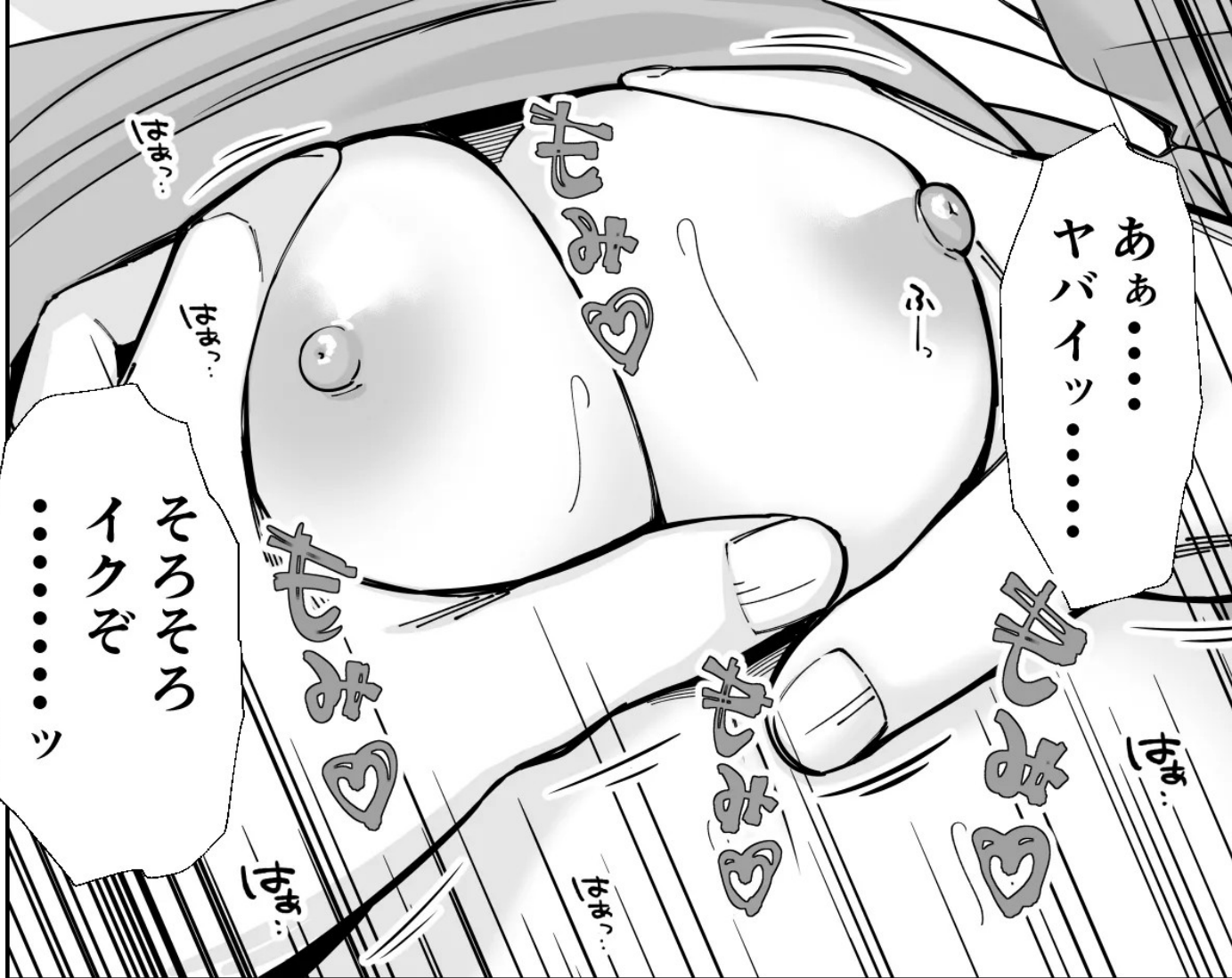
フ
ア
ハ
ツ
ハ
ハ
ツ

● ● ● ● ● ● ●

はー！

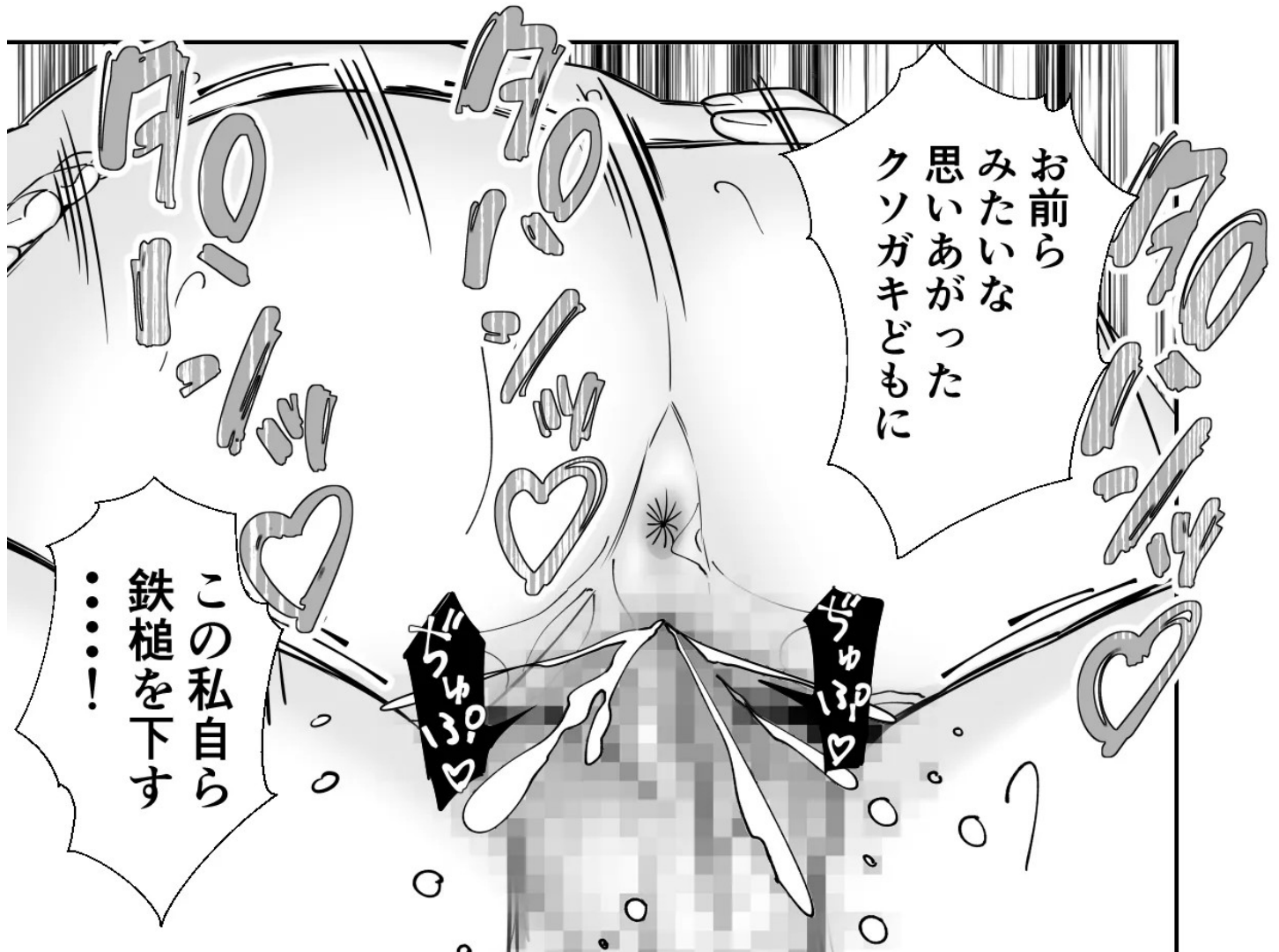


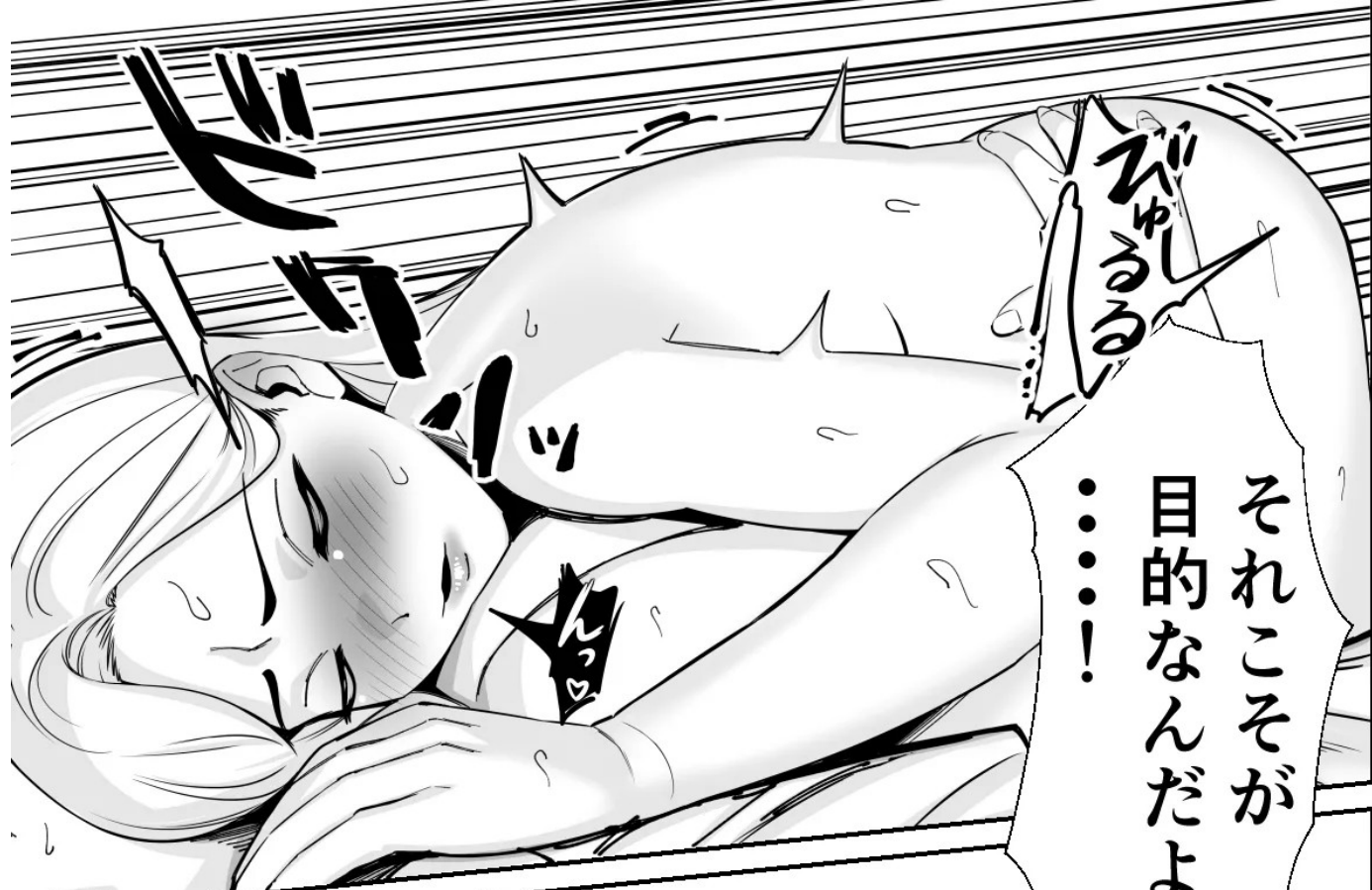






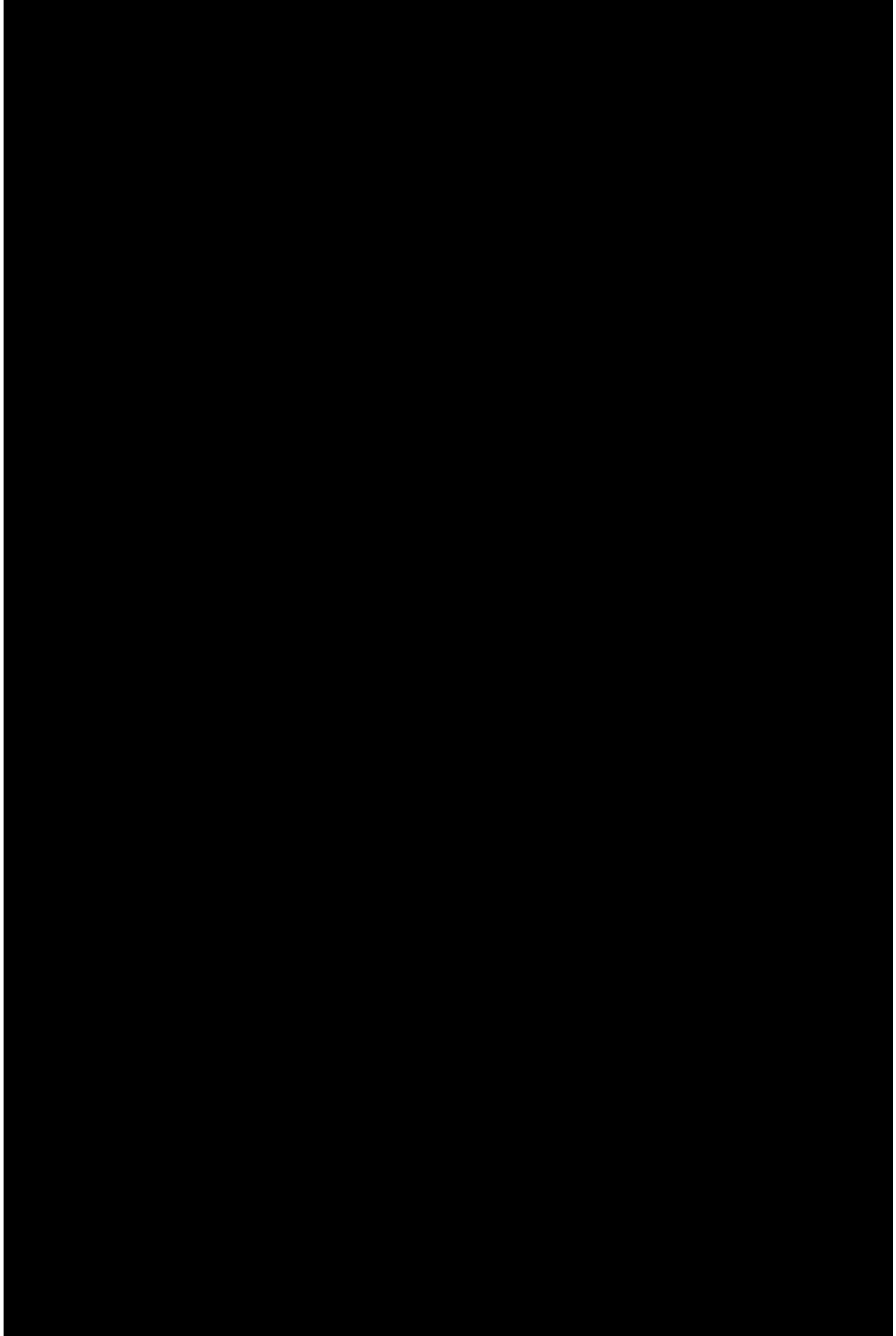


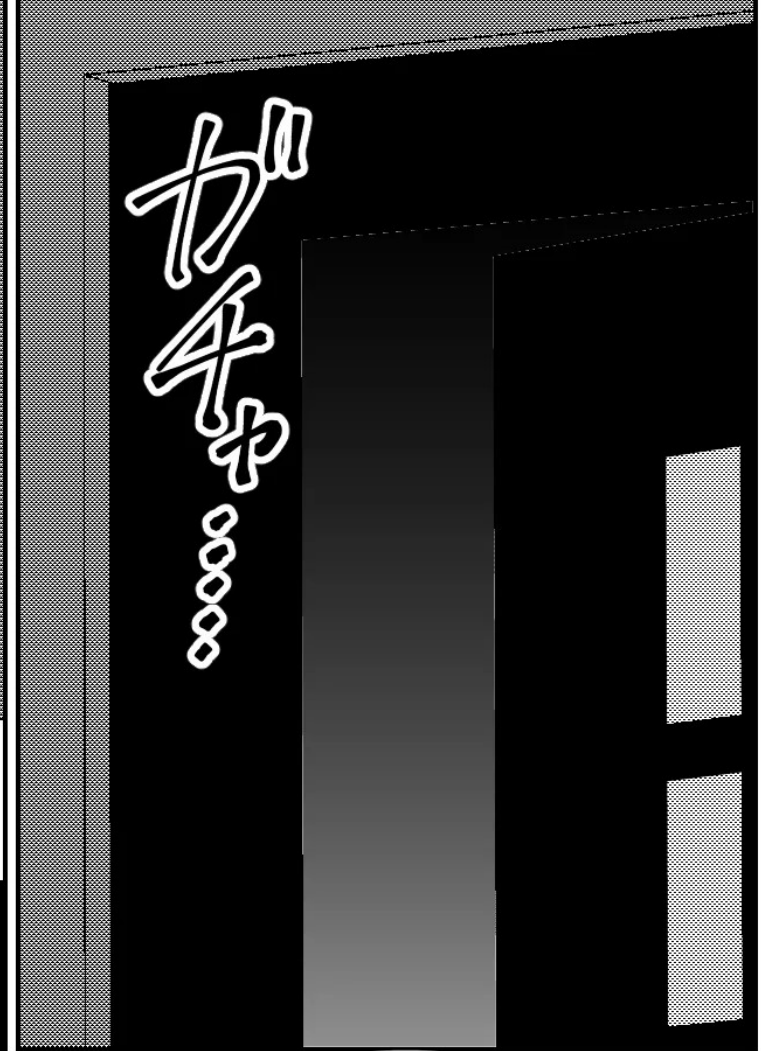


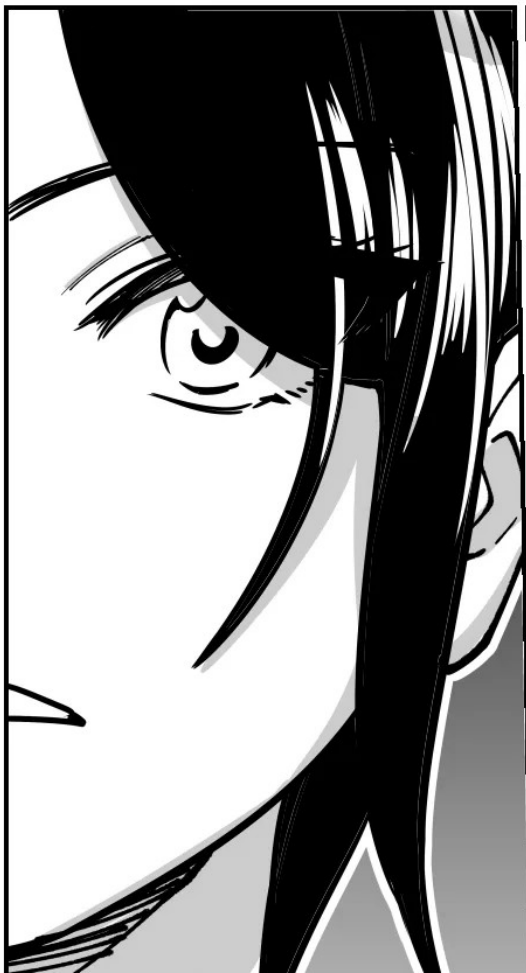
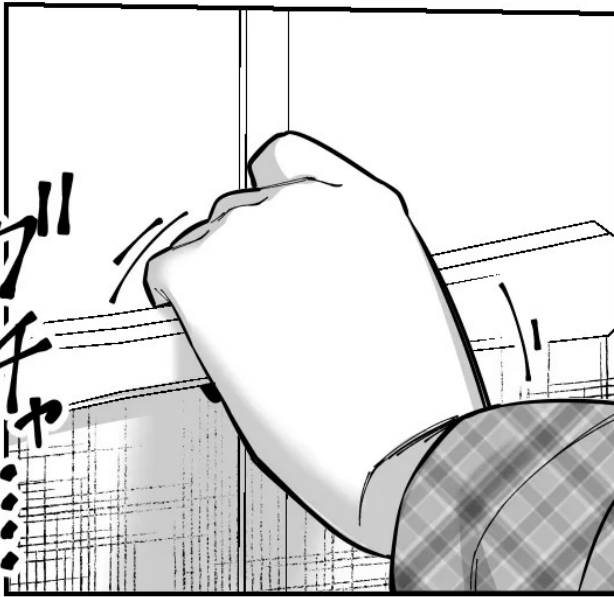


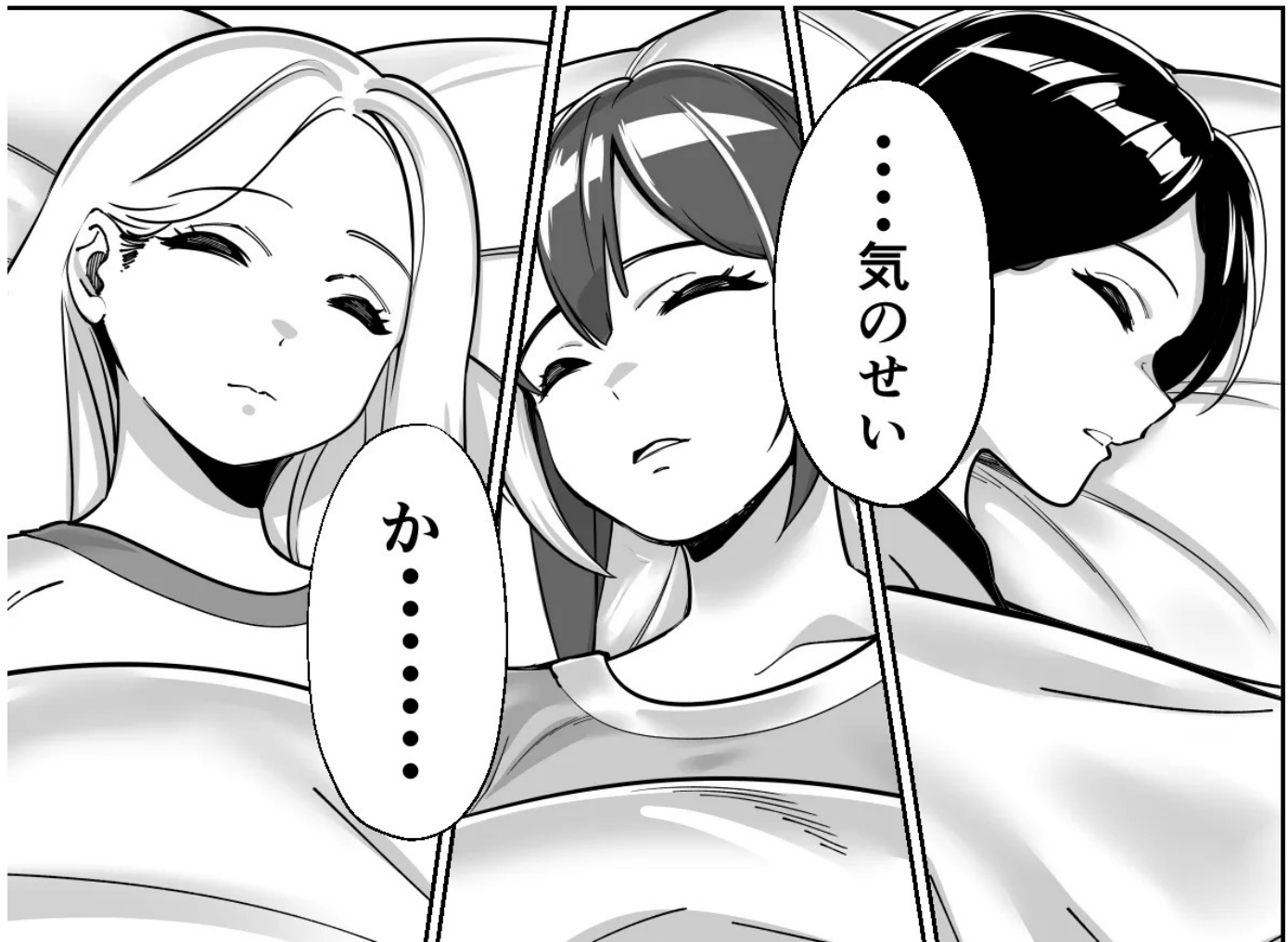


い
る
ん













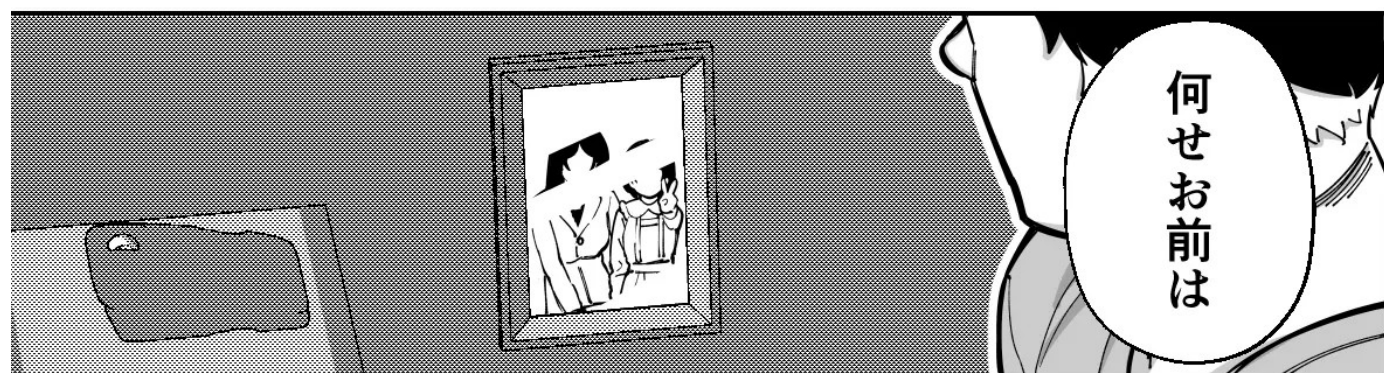
…それにナナ

お前は最後と
決めている
んだ……



何にせよ……

チャンスは
いくらでもある

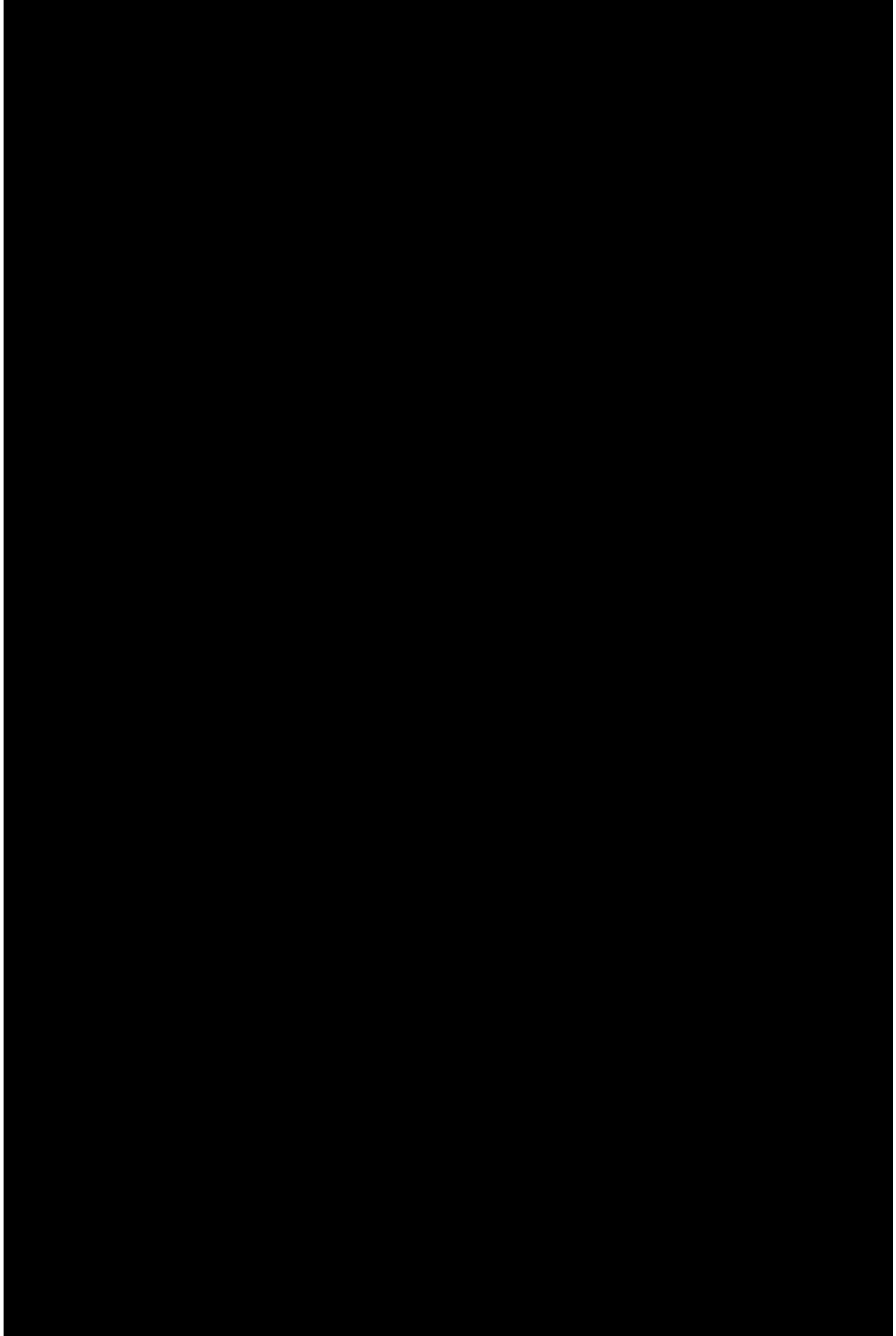


何せお前は



「特別」……

だからな
……？



サークル名・とかもす

<https://fantia.jp/fanclubs/473707>

こちらでは「最新作に関する情報」や
「進捗状況」などについてお伝えしております。
宜しければこちらにも是非ご覧くださいませ。



